

NVivo - Windows クイックスタートガイド

インストールから最初の操作まで、基本操作がわかる!

NVIVO 



NVIVO 

Partner 2022-2023

ユサコ株式会社はNVivo開発元
QSR Internationalの認定パートナーです

目次

- NVivoで何ができる？ . . . P. 2
- Step 1 myNVivo のアカウント作成 . . . P. 3
- (参考) NVivo 14日間のトライアル申請 . . . P. 5
- Step 2 NVivo インストーラーのダウンロード . . . P. 6
- Step 3 NVivo をインストール . . . P. 7
- Step 4 NVivo をアクティベート . . . P. 11
- (参考) NVivo トライアルをアクティベート . . . P. 12
- (参考) NVivo の非アクティブ化（PC 交換時など） . . . P. 13
- Step 5 プロジェクトの作成と保存 . . . P. 14
- (参考) 過去バージョンで作成したファイルを開く . . . P. 17
- Step 6 データのインポート① . . . P. 18
- Step 7 データを考察する①：コードの作成 . . . P. 21
- Step 8 データを考察する②：コーディング . . . P. 23
- Step 9 データを考察する③：コーディングストライプの設定 . . . P. 28
- Step 10 データのインポート②：Excel シート編 . . . P. 31
- Step 11 データのインポート③：EndNote 編 . . . P. 39
- Step 12 データを分析する：頻出語クエリ編 . . . P. 44
- 便利な資料集・お問い合わせ . . . P. 50

新しい NVivo は Pro / Plus などのエディションを廃止しました。
Windows / Macintosh 間のインターフェイスも概ね統一されました。

NVivo (エヌヴィボ) で何ができる？

Before

様々な情報を一元管理

- 文書・画像・音声・動画・スプレッドシートなどをまとめて管理できます。取り込んだファイルは全て NVivo 上で閲覧できるので、PC の画面や机の上が資料でいっぱいになってしまうことはありません。

質的なデータの考察を深める

- NVivo はデータの一部を抜き出して整理することにも優れており、インタビューやアンケートの考察を深める、文献のレビューを行うなどユーザーの思考を補助することができます。抜き出した情報からすぐ元データを参照できるため、データの全体を見返すことができます。

NVivo で情報の整理を効率化し、研究にあてる時間を増やしましょう！

The screenshot shows the NVivo software interface. The main window displays a project named 'R11.nvp'. The interface includes a menu bar (File, Home, Import, Create), a search bar, and a main workspace. On the left, there is a navigation pane with 'IMPORT' and 'ORGANIZE' sections. The 'IMPORT' section shows 'Data' with sub-items like 'ファイル', 'SNS', 'アンケートデータ', etc. The 'ORGANIZE' section shows 'Coding' with sub-items like 'Codes', '概念', '関係', etc. The main workspace displays a '概念' (Concept) tree with nodes like '環境変化', '経済', '漁業', '仕事', '商業漁業', '水質', and '動物の生息地'. A text editor window is open on the right, showing a document with Japanese text and a 'CODES' list on the right side of the editor.

NVIVO を使ってみよう

Step 1-1 myNVivo のアカウント作成



Sign in with your email address

メールアドレス

Next

サインインしたままにする

アカウントをお持ちではない場合は? [今すぐサインアップ](#)

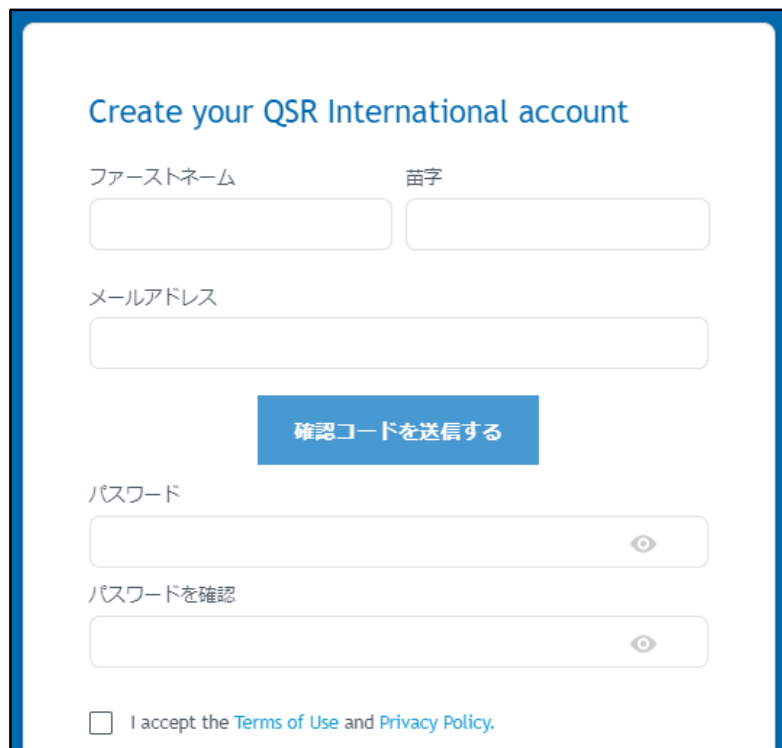
NVivo をご利用になるには開発元のポータルサイト「myNVivo」のアカウントを作成する必要があります。

myNVivo のアカウントをお持ちでない場合は、下記 URL にアクセスし、「今すぐサインアップ」からアカウントを登録してください。

<https://portal.mynvivo.com/>

※ こちらで設定したアカウントは今後 NVivo をご利用になる上で継続してご利用いただくこととなります。ご登録いただきましたアカウント情報は大切に保管してください。

Step 1-2 myNVivo のアカウント作成



Create your QSR International account

ファーストネーム 苗字

メールアドレス

[確認コードを送信する](#)

パスワード

パスワードを確認

I accept the [Terms of Use](#) and [Privacy Policy](#).

次の画面で必要事項を入力し、[確認コードを送信する] をクリックしてください。確認コードが記載されたメールが届きますので、表示される [検証コード] 入力欄に送られてきたコードを入力し、[メールを検証する] をクリックしてください。

続いてパスワードを入力し、下記にチェックを入れて「アカウントを作成する」をクリックしてください。

- I accept the Terms of Use and Privacy Policy.

※ 氏名は半角ローマ字でご入力いただきますようお願いいたします。

※ パスワードの設定は下記の条件があります。

- 8文字以上
- 下記のうち、3種類以上の文字を使用（半角入力）
 - 小文字 (a-z)
 - 大文字 (A-Z)
 - 数字 (0-9)
 - 特殊文字 (例： ! @ # \$ % ^ & * など)

※ 正規ライセンスをご購入の方はご注文時にご連絡いただいたメールアドレスでご登録いただく必要があります。

※ 開発元がライセンスを付与する際にアカウントが作成される場合があります。「指定された電子メールを持つユーザーはすでに存在します。」と表示された場合は「Back to login」からログイン画面に戻り、メールアドレスを入力して「Next」をクリックしたあと「パスワードを忘れた場合」からパスワードの再設定を行い、ログインしてください。

(参考)

NVivo 14日間のトライアル申請

NVivo セットアップを完了

業界

顧客タイプ

国

州

購入を確認すると、QSRの利用規約とプライバシーポリシーに同意したことになります

はい！ 開始方法、ヒントとヒント、定性的データ分析に関するベストプラクティスの記事など、NVivoについて詳しく知りたいと思います。

サインアップを完了

※ NVivo ライセンスをご購入いただいた方は
本ページの操作は不要です。
次のページに進んでください。

myNVivo Portal にログイン後、続いて表示される画面にて各回答項目に回答します。

「購入を確認すると、QSRの利用規約とプライバシーポリシーに同意したことになります」にチェックを入れ、[サインアップを完了] をクリック。

※ 一つ下のチェックボックスにチェックを入れるかは任意です。

※ トライアルの申し込みは 1アカウントにつき 1回のみとなります。予めご了承ください。

Step 2 NVivo インストーラーのダウンロード

下記の URL から、ご利用の OS のインストーラーをダウンロードしてください。

● NVivo for Winows

<https://download.qsrinternational.com/Software/NVivo/NVivo.x64.exe>

● NVivo for Mac

<https://download.qsrinternational.com/Software/NVivoforMac/NVivo.dmg>

※ 14日間のトライアルを行う場合は前のページでご紹介している
「(参考) NVivo 14日間のトライアル申請」を必ず行ってください。

※ Mac のインストール手順・基本操作の確認は Mac 用のクイックスタートガイドをご参照ください。

Step 3-1 NVivo をインストール



NVivo は 64 ビット対応 OS でのみご利用いただけます。お使いの PC が 64 ビットに対応しているかご確認ください。

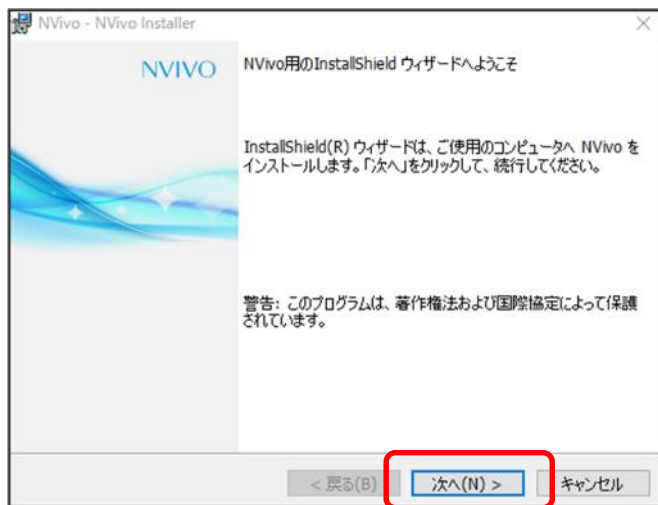
スタートボタンを右クリック → [システム] で表示される画面の [システムの種類] 欄を確認します。
※ Windows 8 の場合、コントロールパネルから [システムのセキュリティ] → [システム] で確認できます。

確認が完了しましたら、インストーラーをダブルクリックしてインストールを開始します。



NVivo.x64.exe

Step 3-2 NVivo をインストール



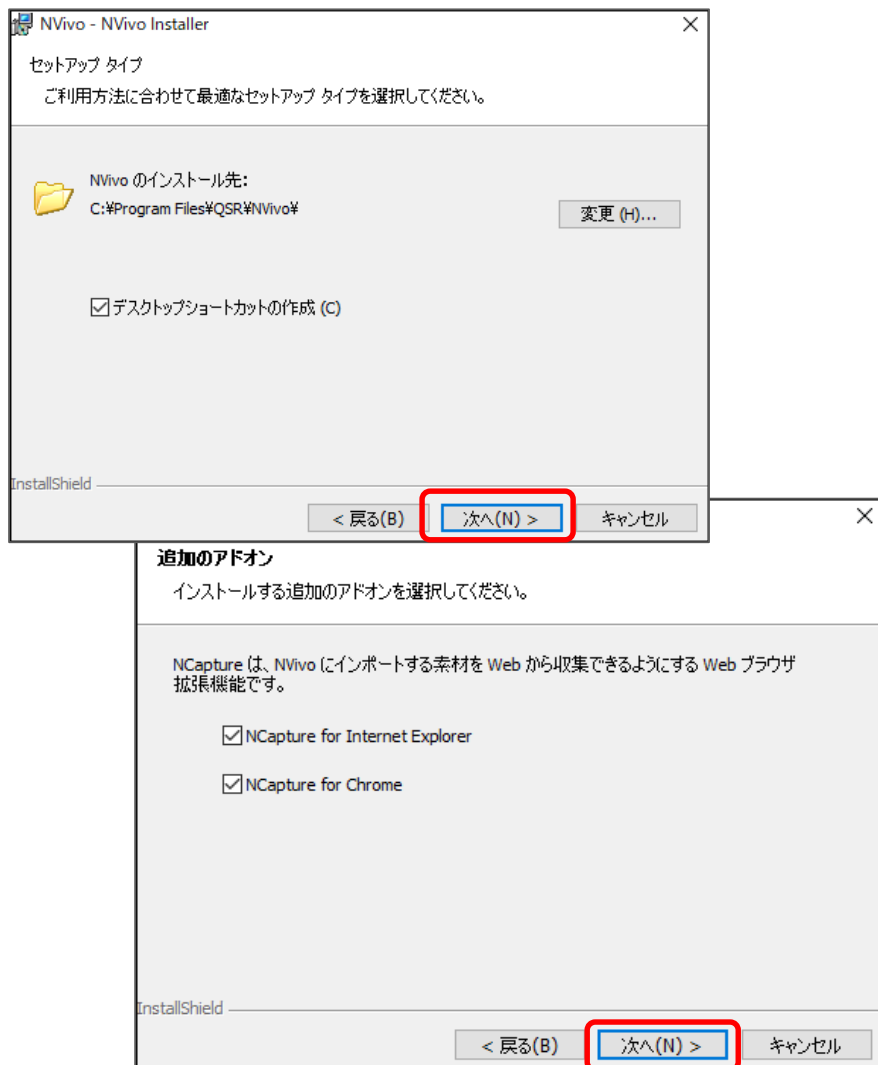
セットアップ画面が表示されるので、[次へ]で画面を進めます。

License Agreement は、内容をご確認の上、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



※ NVivo を使用するには、動作の前提となるソフトウェアがいくつか必要になります。もし PC 内にそのソフトウェアがインストールされていない場合、NVivo 本体の前にそれらのインストールが実行されます。その際は画面の指示に従って操作してください。

Step 3-3 NVivo をインストール



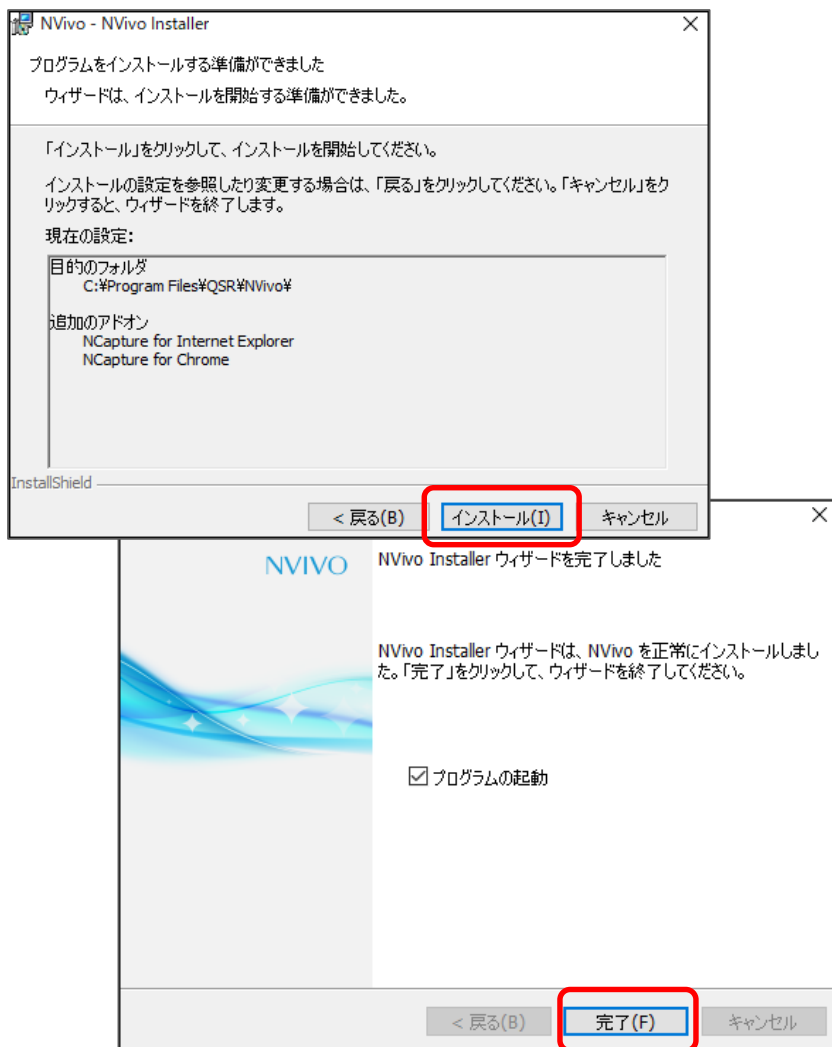
NVivo プログラム本体の保存場所を設定します。
特段の事情がなければ初期設定のまま
[次へ] をクリックします。

追加のアドオンにチェックを入れると、ウェブサイト
や SNS の情報を取り込むためのアドオン
「**NCapture**」をインストールできます。

※ 現在 Ncapture は Google Chrome にのみ対応して
います。

希望に応じチェックを入れ、[次へ] を
クリックします。

Step 3-4 NVivo をインストール



設定の確認画面が表示されます。問題なければ [インストール] をクリックします。

インストールが始まりますのでそのままお待ちください。

インストールが完了しましたら [完了] をクリックします。

次に、NVivo のアクティベートを行います。

Step 4 NVivo をアクティベート

※トライアルをご利用の場合は次のページの「NVivo トライアルをアクティベート」をご参照ください。



アクティベートとはインストールした NVivo にライセンス認証を実行し、実際に使用可能にする操作です。

※ NVivo のアクティベートにはインターネット接続が必要です。

※ NVivo はライセンス利用規約上同時にアクティベート可能な端末数が限られています。（個人利用に限り2台まで）

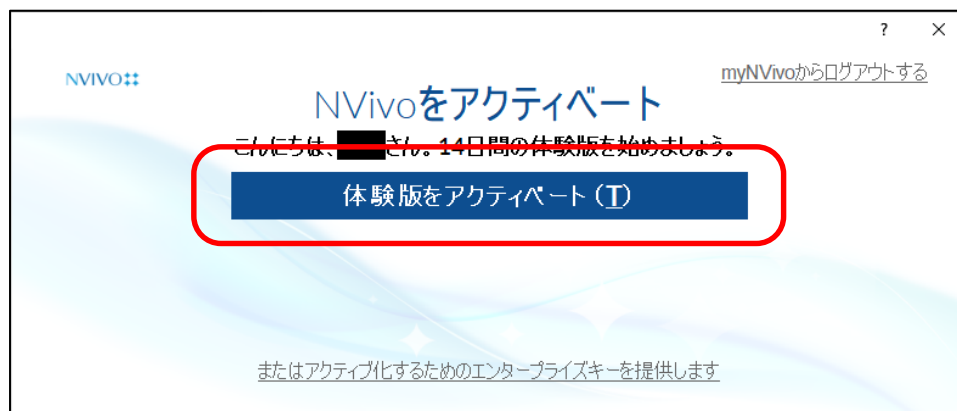
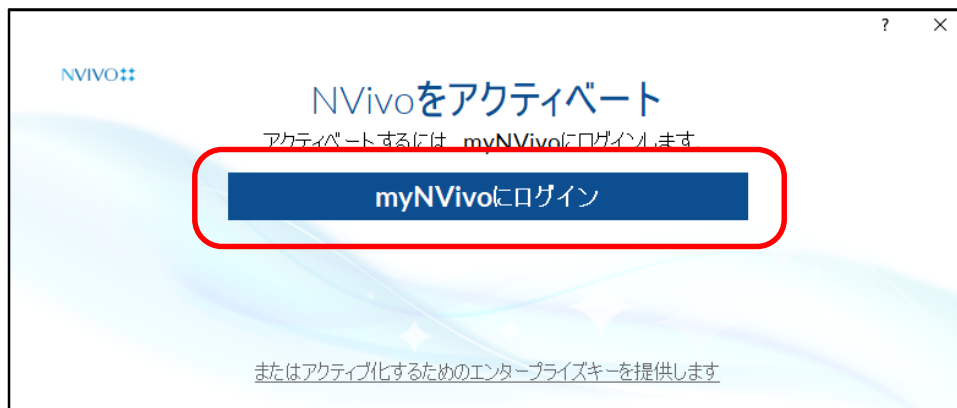


[myNVivoにログイン] からアクティベートを行います。クリックするとインターネットブラウザ上で myNVivo へのログイン画面が表示されます。Step 1 で登録したメールアドレスとパスワードでログインしてください。

すると、「myNVivoでアクティベート」というボタンが表示されるので、それをクリックします。

(参考) NVivo トライアルをアクティベート

※正規ライセンスをご利用の場合は前のページの「NVivo をアクティベート」をご参照ください。



アクティベートとは、インストールしたNVivoにライセンス認証を行い、実際に使用可能にする操作です。

※ NVivoのアクティベートにはインターネット接続が必要です。

※ NVivoは、ライセンス利用規約上同時にアクティベート可能な端末数が限られています。（個人利用に限り2台まで）

[myNVivoにログイン] からアクティベートを行います。クリックするとインターネットブラウザ上でmyNVivo へのログイン画面が表示されます。Step 1 で登録したメールアドレスとパスワードでログインしてください。

すると、[体験版をアクティベート] というボタンが表示されるので、それをクリックします。

※ myNVivoのアカウントでトライアルの申請 (P.5) を行っていないとアクティベートできません。必ず申請を行ってからアクティベートを実行してください。

(参考) NVivo を非アクティブ化 (PC 交換時など)



※ こちらの操作は、必ず **NVivo をアンインストールする前** **に行ってください。**

NVivo は、ライセンス利用規約上同時にアクティベート可能な端末数が限られています。(個人利用に限り2台まで)

ご利用の PC を交換するなどの理由でパソコン間で NVivo を入れ替える場合、使用しなくなるパソコンからあらかじめアクティベーションを解除 (非アクティブ化) することで、新しい PC でも NVivo を使用できるようになります。

非アクティブ化する場合、NVivo を起動し、プロジェクトを開いていない状態でメニューの [ファイル] をクリックし、[製品情報] → [ライセンス管理] → [ライセンスを非アクティブ化] をクリックしてください。その PC で NVivo が使用できなくなる代わりに、新しい PC でアクティベートできるようになります。

※ アクティベートと非アクティブ化を短期間に何度も繰り返すとライセンスの不正使用 (3台以上での利用) と判断され、ライセンスがロックされてアクティベートできなくなることがあります。ご注意ください。



※ トライアルは非アクティブ化できません。

Step 5-1 プロジェクトの作成と保存



NVivo に取り込んだ様々なファイルや行った分析結果は基本 1つのファイルに保存されます。NVivo ではそのファイルを「**プロジェクト**」と呼びます。

NVivo を使い始めるために、まずはこのプロジェクトを作成しましょう。

新規プロジェクト - 手順1/2 ? X

プロジェクトのタイトル

ファイル名 参照...

説明

ユーザーアクションのログを保持する

データのテキスト分析を行うには、データファイル（大部分）に該当するテキストコンテンツの言語を選択します。

テキストコンテンツの言語

キャンセル 次

NVivo のスタート画面で

[新規プロジェクト] をクリックします。

[プロジェクトのタイトル] 欄にプロジェクト名、

[説明] 欄にプロジェクトの説明(任意)を入力します。

[参照] ボタンからファイルの保存場所を指定できます。

※ **オンラインストレージや外部記憶媒体への保存はお控えください。**

[テキストのコンテンツの言語] のプルダウンにて、分析の際に使用する言語を選択します。(作成後も設定変更可能)

[Next] をクリックします。

※ [ユーザーアクションのログを保持する] にチェックを入れておくと、操作のログを残しておくことができ、便利です。

Step 5-2 プロジェクトの作成と保存



新規プロジェクト - 手順2/2

プロジェクトの保存

プロジェクトを自動保存しますか？（「はい」の場合、[元に戻す]は無効） はい いいえ

保存のリマインダーを次の間隔で表示 15 分 はい いいえ

プロジェクトリカバリ

NVivoは、プロジェクトのリカバリファイルを短期バックアップとして自動的に作成します。保存することによって、ファイルの作成がトリガーされます。（バックアップも手動で保存することをお勧めします）

リカバリファイルを作成 30分おき

最新データを保存 1 リカバリファイル

リカバリファイルの場所 C:\Users\ko-tanaka\Documents\NVivo Recove 参照...

戻る プロジェクトを作成

次の画面で保存に関する設定を行うことができます。

[プロジェクトを自動保存しますか?]：「はい」に設定すると操作ごとに自動保存されます。ただし、NVivoは保存すると「元に戻す」コマンドが使用できなくなる仕様となっていますので、一切の操作を元に戻せなくなる点にご注意ください。

[保存のリマインダーを次の間隔で表示]：設定した時間ごとに保存のリマインダーを出現させます。リマインダー画面で [はい] を選択すると保存されます。

[いいえ] を選択すると保存せずに作業を継続できます。

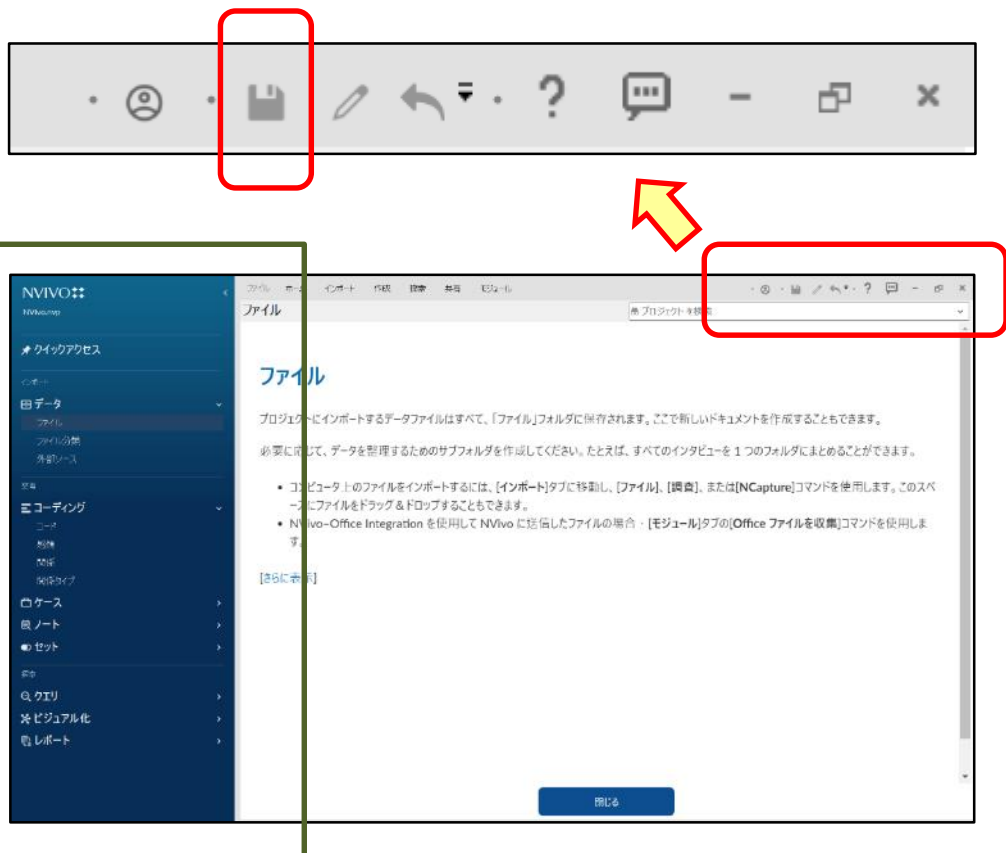
[プロジェクトリカバリ]：自動的にリカバリーファイルを作成する設定を編集できます。特にこだわりがない場合は初期設定のままで問題ありません。

[プロジェクトを作成] をクリックするとプロジェクトが作成されます。

Step 5-3 プロジェクトの作成と保存

空のプロジェクトが作成されます。

これからこのプロジェクトに様々なデータを取り込み、分析を行いましょう。



ナビゲーションビュー

※ NVivo は新規プロジェクト作成時に、メニューやナビゲーションビューの項目の解説を行う「ツアー」が表示されます。よろしければ一通りご参照ください。

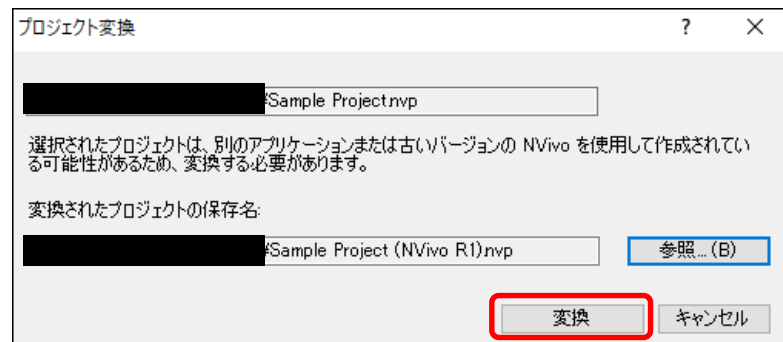
※ 「ツアー」は [ファイル] メニューの [ヘルプ] → [ヘルプリソース] → [ツアー] から再表示可能。

データの取り込みやコーディング、メモの編集などを行った後は、画面右上にある [保存] ボタン

 をクリックすると作業内容を保存できます。

※ こまめに保存することをおすすめします。

(参考) 過去バージョンで作成したファイルを開く



過去バージョンの NVivo で作成したプロジェクトのファイルは、変換を行うことで、続きから編集することができます。

NVivo を起動後、プロジェクトを開いていない状態で [ファイル] をクリックし、[開く] の項目から [参照] を選択。

変換したいプロジェクトファイルを選択すると、[プロジェクト変換] の画面が表示されます。

変換後のファイル名と保存場所を指定する場合は、[参照] ボタンをクリックします。

[変換] ボタンをクリックすると、変換後のファイルが開きます。

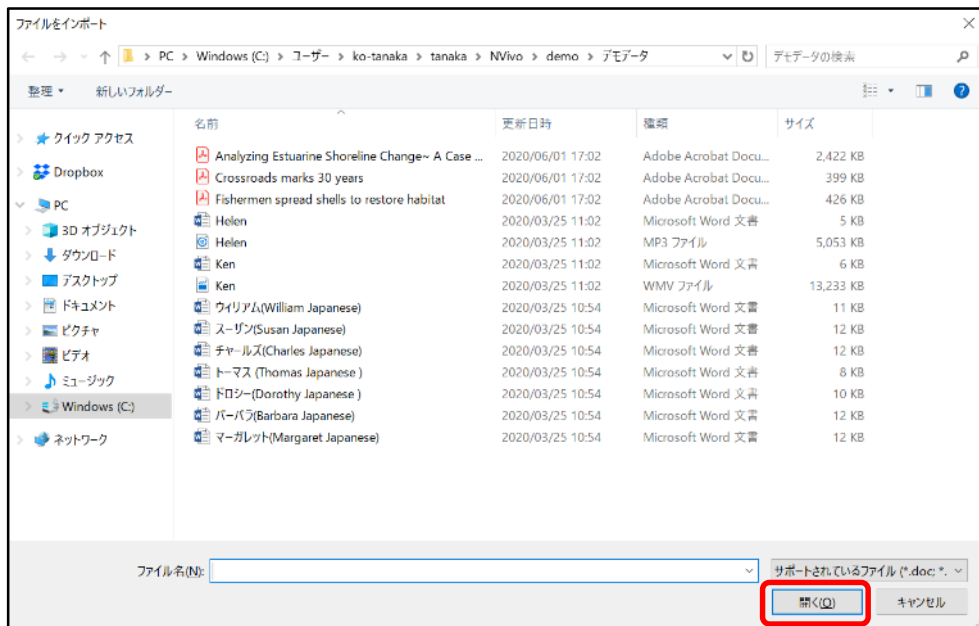
ファイル名と保存場所を指定しなかった場合、変換後のファイルは「元のファイル名」(NVivo R1).nvp の名前で元ファイルと同じフォルダに保存されます。

Step 6-1 データのインポート①



NVivo に取り込むデータのうち、Excel や他の統計分析ソフト、文献管理ソフト以外の主なデータは「ファイル」から取り込みます。

ここでは Microsoft Word で作成されたファイルを取り込み、NVivo のソースデータとして扱うようにしてみます。



[インポート] メニューをクリックし、[ファイル] をクリックします。

ファイル選択ウィンドウが出現するので、取り込みたいファイルを選択して [開く] をクリックします。

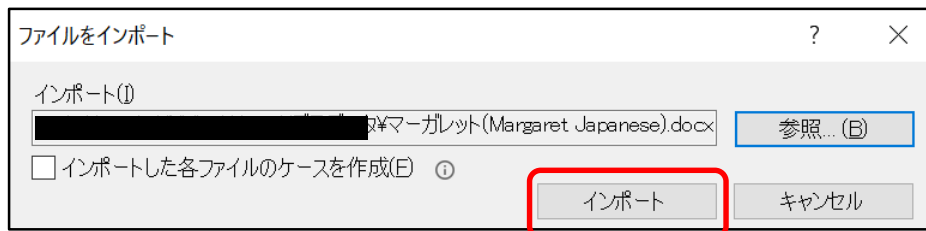
※ 複数のファイルを一度に取り込むことも可能です。

Ctrlキーを押しながらクリックすると、複数のファイルを一度に選択できます。

※ [ファイル] から取り込み可能なファイル形式：文書ファイル、PDF、音声ファイル、画像ファイル、動画ファイル、など。

詳細はファイル選択ウィンドウ右下の [サポートされているファイル...] のプルダウンメニューを開いてご確認ください。

Step 6-2 データのインポート①



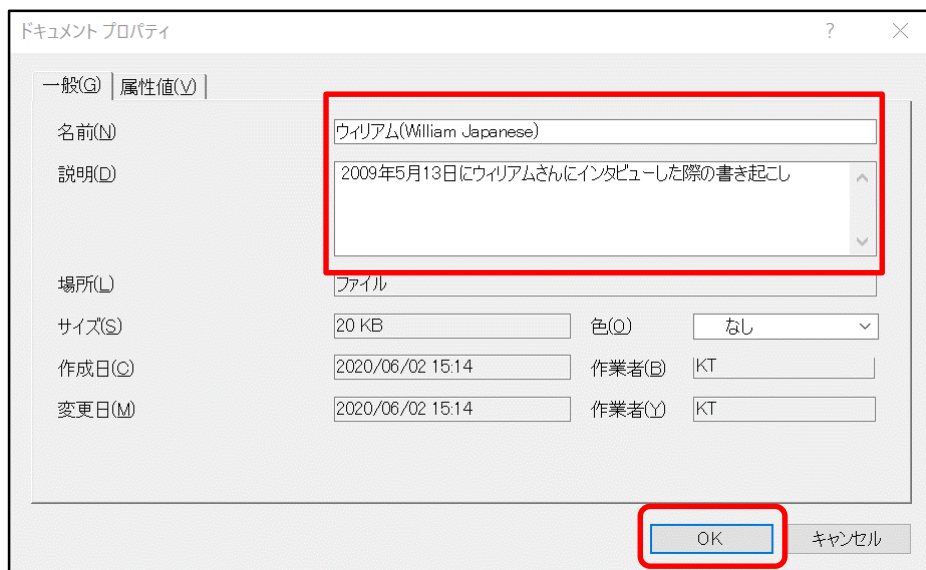
インポートするデータを確認するウィンドウが出現するので、[インポート] をクリックします。

取り込むデータのプロパティ画面が出現します。

[名前] 欄にNVivo内での表示名

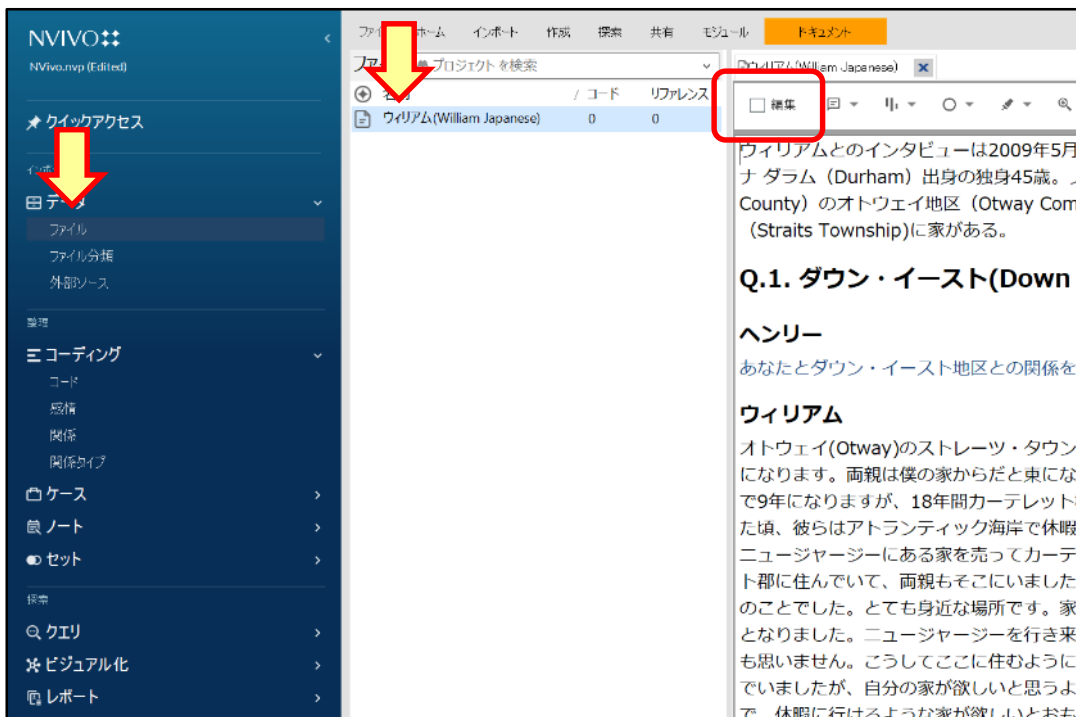
[説明] 欄にデータの説明(任意)を入力し、

[OK] をクリックします。



※ 複数のデータをまとめてインポートした場合はプロパティ画面は出現しません。NVivo内に取り込まれたデータを右クリックし、[ドキュメントプロパティ] を選択することで個別にプロパティ画面を表示させることができます。

Step 6-3 データのインポート①



ファイルがソースデータとして取り込まれ、「ファイル」の中に保存されました。データをダブルクリックすると NVivo 内で閲覧・編集することも可能です。

編集を行う際は [編集] のチェックボックスにチェックを入れる必要があります。

※ 初期設定では、NVivo に取り込んだファイルはプロジェクトファイル内にコピーが埋め込まれるため、NVivo に取り込んだデータを編集しても**取り込む前の原本ファイルには変更が反映されません。**

Step 7-1 データを考察する①：コードの作成



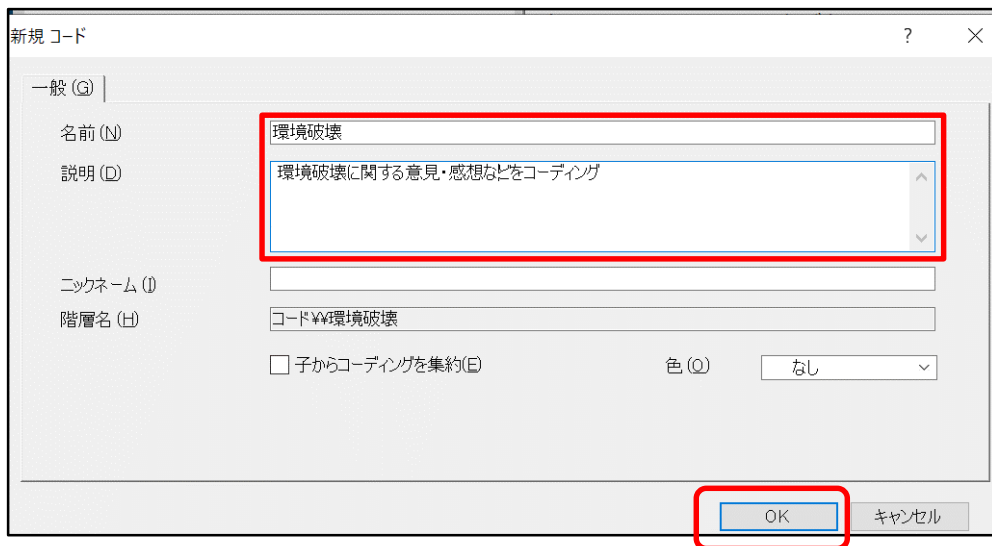
NVivo は、取り込まれた様々なデータから重要な部分を自分自身の視点でまとめ、分かりやすく整理することができます。

各データ内で、自身が設定したトピックに関する部分（文章や画像の一部分など）を格納しておく資料ケースのようなものを「コード」と呼びます。

取り込んだデータから必要な情報を格納するため、コードを作成しましょう。

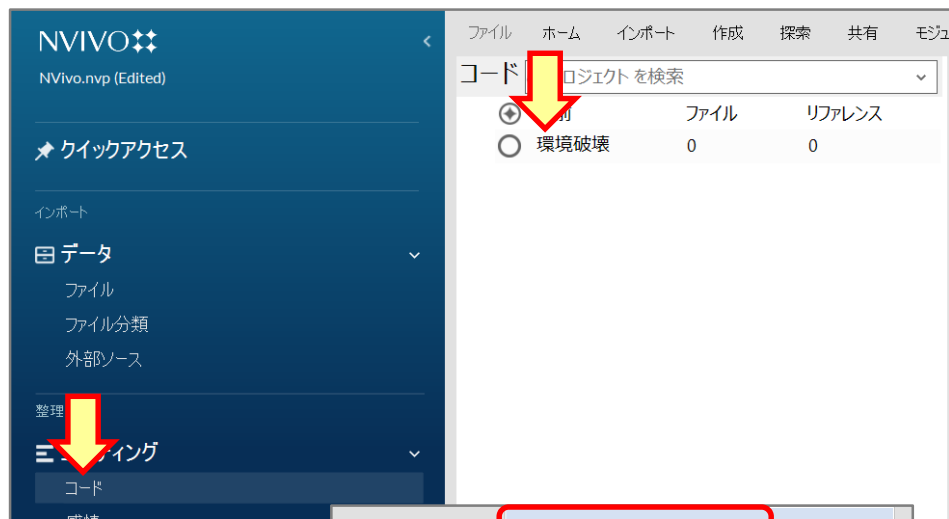
[作成] メニューをクリックし、[コード] をクリックします。

[名前] 欄にコード名、[説明] 欄にはコードの説明(任意)を入力し、[OK] をクリックします。



※ NVivo は、以前のバージョンでは「コード」のことを「ノード」と呼んでいました。呼称が変更されていますのでご注意ください。

Step 7-2 データを考察する①：コードの作成



コードが作成されます。

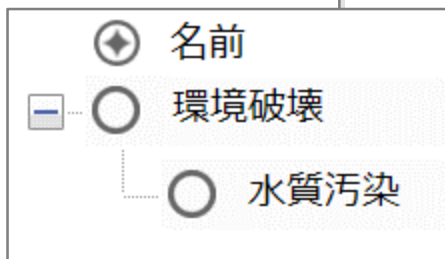
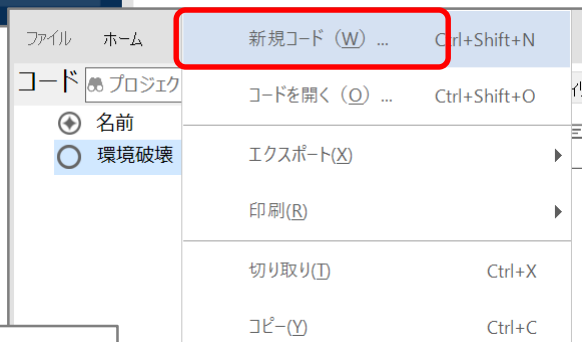
ナビゲーションビューの [コード] をクリックすると作成したコードが表示されます。

また、コードを階層化することも可能です。

作成したコードの上で右クリックし、[新規コード] を選択して新しくコードを作成すると一つ下の階層に新しいコードが作成されます。

※ 作成したコードをドラッグ&ドロップで別のコードの上に落とす方法でも階層化できます。

※ 階層化の深さに制限はありませんが、PCのパフォーマンスに影響を及ぼす場合があるため、7階層までの運用を推奨します。



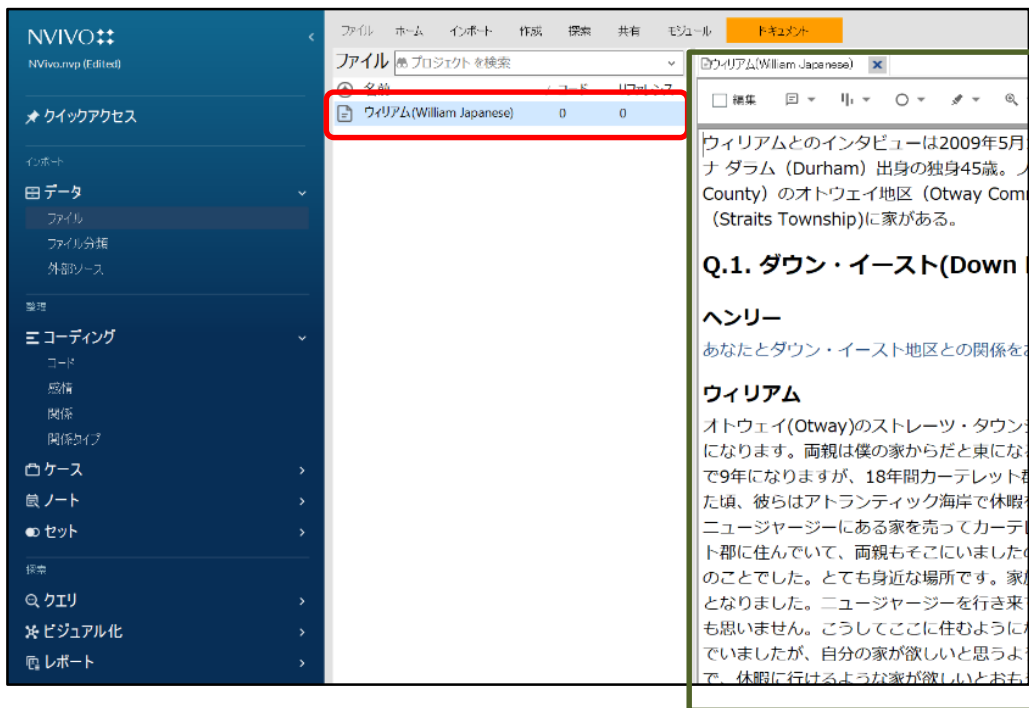
Step 8-1 データを考察する②：コーディング

分析中の資料で重要な部分があった場合、紙で作業をしていたときはマーカーを引く・付箋を貼る・ハサミで切ってスクラップ（カード）にする…など様々な方法で整理していたと思いますが、NVivoでは簡単な操作で元データを損なわずに情報を整理することができます。

NVivoに取り込んだソースデータから重要な情報を整理することを「**コーディング**」といいます。基本的にはソースデータからコードにコーディングを行います。

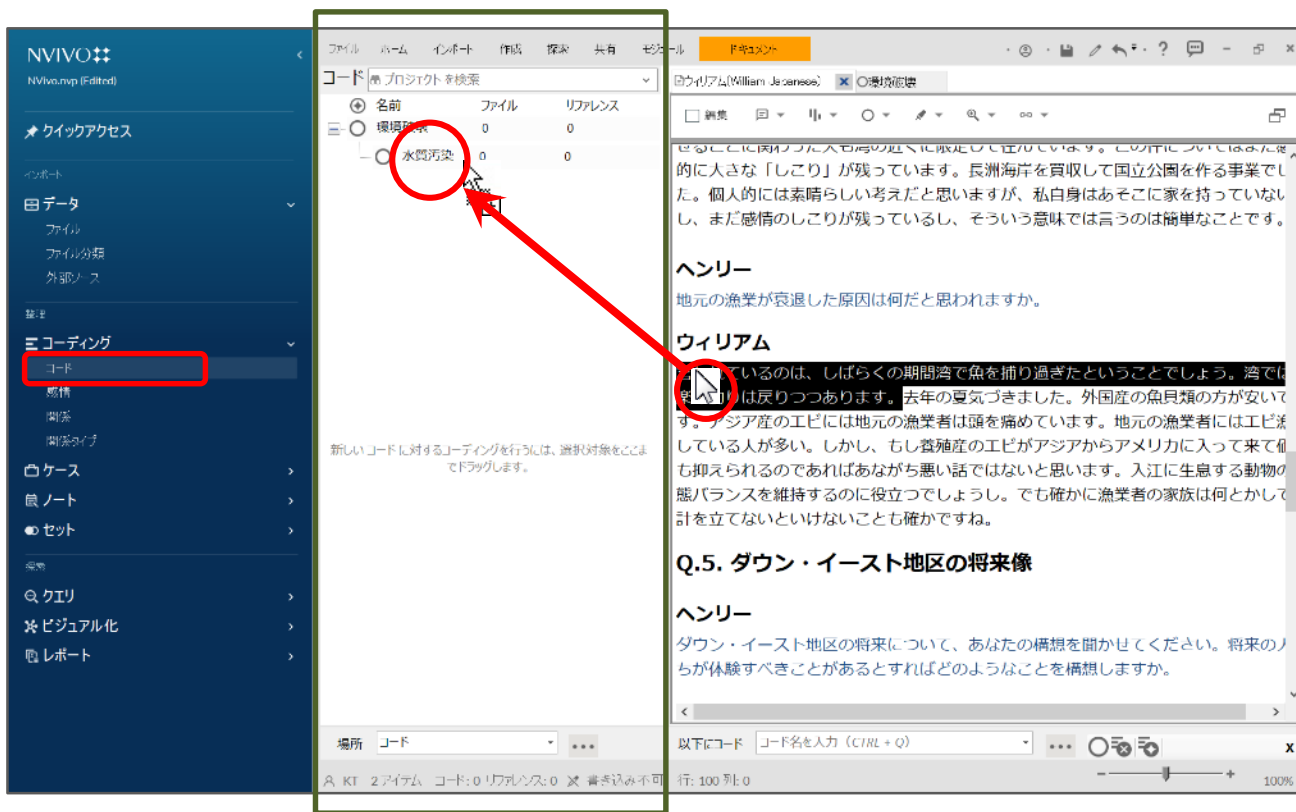
ここでは取り込んだドキュメントの一文をコーディングしてみましょう。

コーディングしたいドキュメントをソースデータの中からダブルクリックすると、詳細ビューが開きます。



詳細ビュー

Step 8-2 データを考察する②：コーディング



リストビュー

詳細ビュー内で重要な文章を見つけたら、マウスでクリック&ドラッグして選択します。

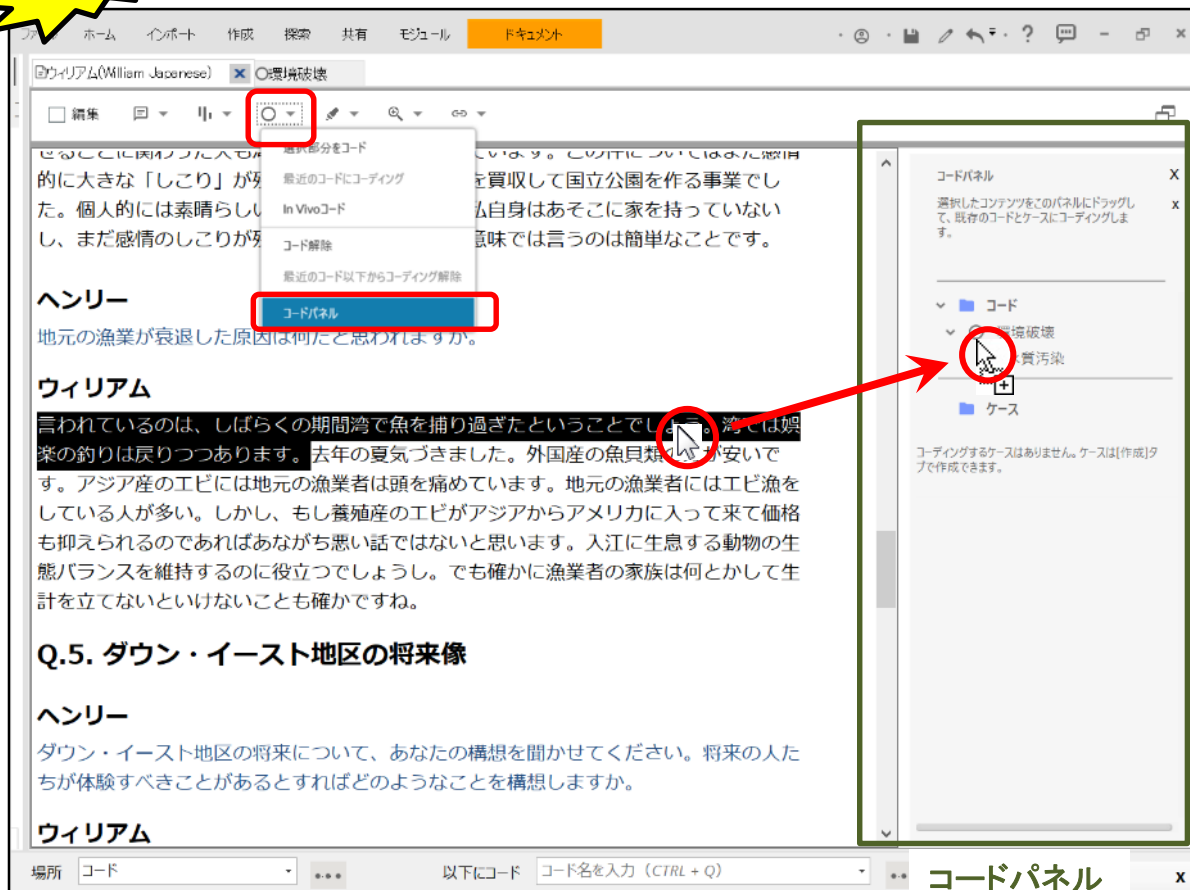
画面左のナビゲーションビューで [コード] を選択すると作成したコード一覧がリストビューに表示されるので、選択した文章を格納したいコードにドラッグ&ドロップします。


※ リストビュー内の余白部分 “新しいコードに対するコーディングを行うには、選択対象をここまでドラッグします” 周辺に選択した文章をドラッグ&ドロップすると、新規ノードを作成しつつコーディングを実行することが可能です。

Step 8-3 データを考察する②：コーディング

New

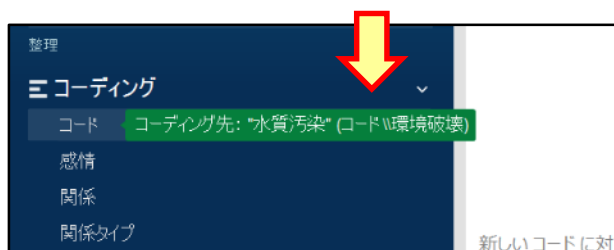
詳細ビュー内にコードパネルを表示させてコーディングすることが可能になりました！



詳細ビュー上部の  から [コードパネル] を選択すると、詳細ビューの右側にコード一覧が表示されるので、選択した文章を格納したいコードにドラッグ&ドロップできます。リストビューを切り替える手間が省けるので便利です。

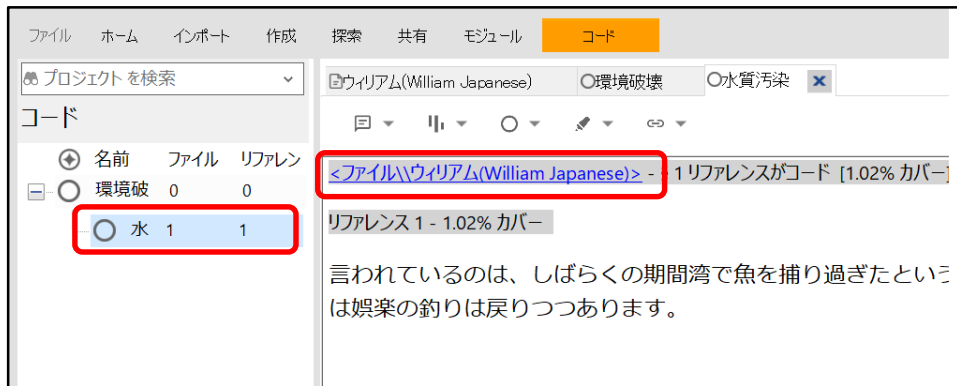
※ 詳細ビューにドキュメントファイル以外を表示している状態ではコードパネルを表示することはできません。予めご了承ください。

Step 8-4 データを考察する②：コーディング



コーディングが完了すると、ポップアップが表示されます。

リストビューにコードを表示させ、内容を表示したいコードをダブルクリックすると、詳細ビューに当該コードにコーディングされているデータが一覧表示されます。

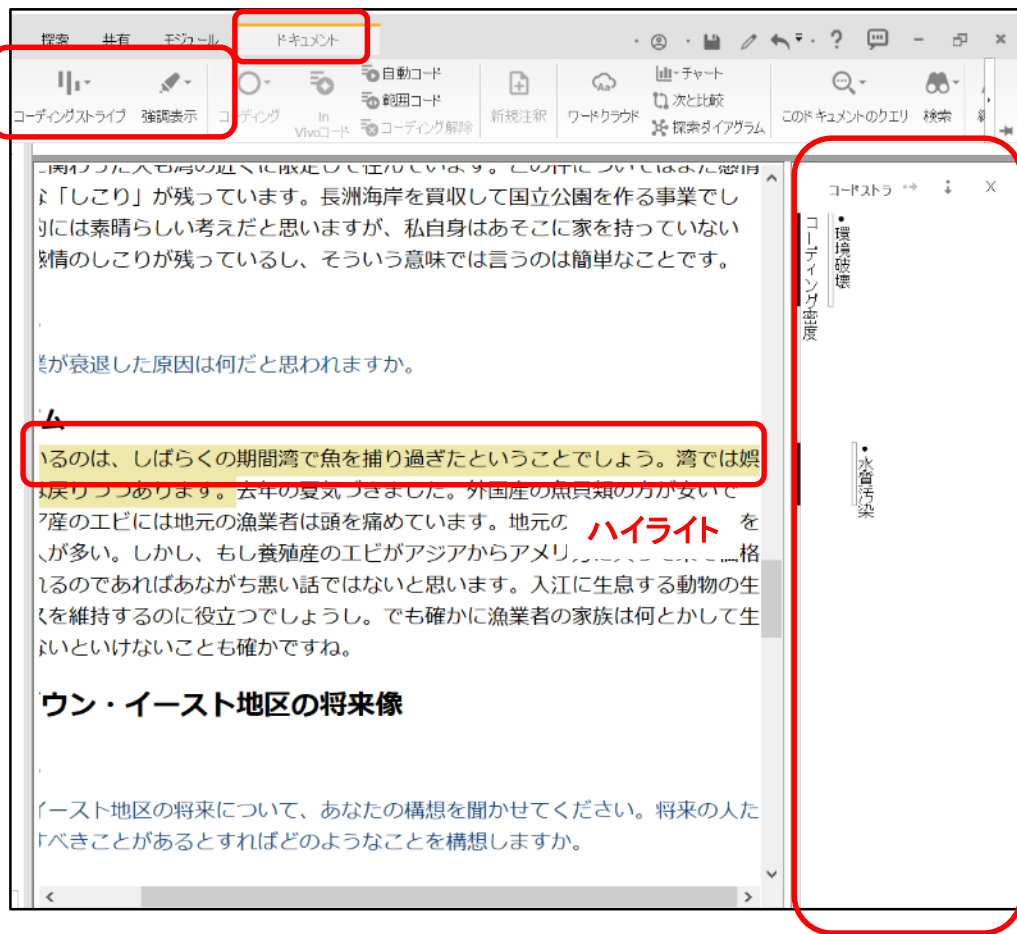


また、コーディングされている内容の上部に記載されている青いリンクをクリックするとコーディングを行ったソースデータを開くことができます。文章の前後や元データ全体を簡単に見返すことができます。

※ コードパネルからはコードを開くことはできません。
※ PDFやメモなどのコーディングも同様の操作で行うことが可能です。

特定のトピックや気付きに基づいてコードを作り、情報を集約していくことで自分だけのデータベースを作りましょう。

Step 8-5 データを考察する②：コーディング



ソースデータを閲覧しているとき、既にコーディングしてある箇所の色を付け、視覚的に分かりやすく表示することも可能です。

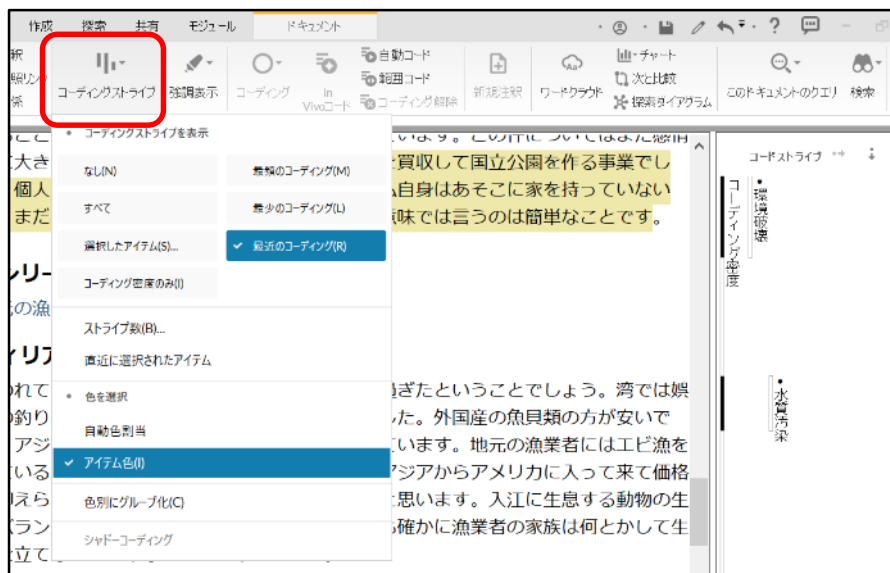
ソースデータをダブルクリックして詳細ビューを表示した後、[ドキュメント]メニューで設定します。

- コーディングストライプ：文中のどこが、どのコードにコーディングされているかを詳細ビューの右側に表示します。
- 強調表示：詳細ビュー内でコーディングされている箇所がハイライト表示されます。

※ ハイライトを設定しなくても、コーディングストライプ内でコーディング箇所を示すバーをクリックすると該当箇所がハイライトされます。

コーディング
ストライプ

Step 9-1 データを考察する③：コーディングストライプの設定



コーディングストライプは、特定の要素へのコーディングのみを選択して表示することも可能です。

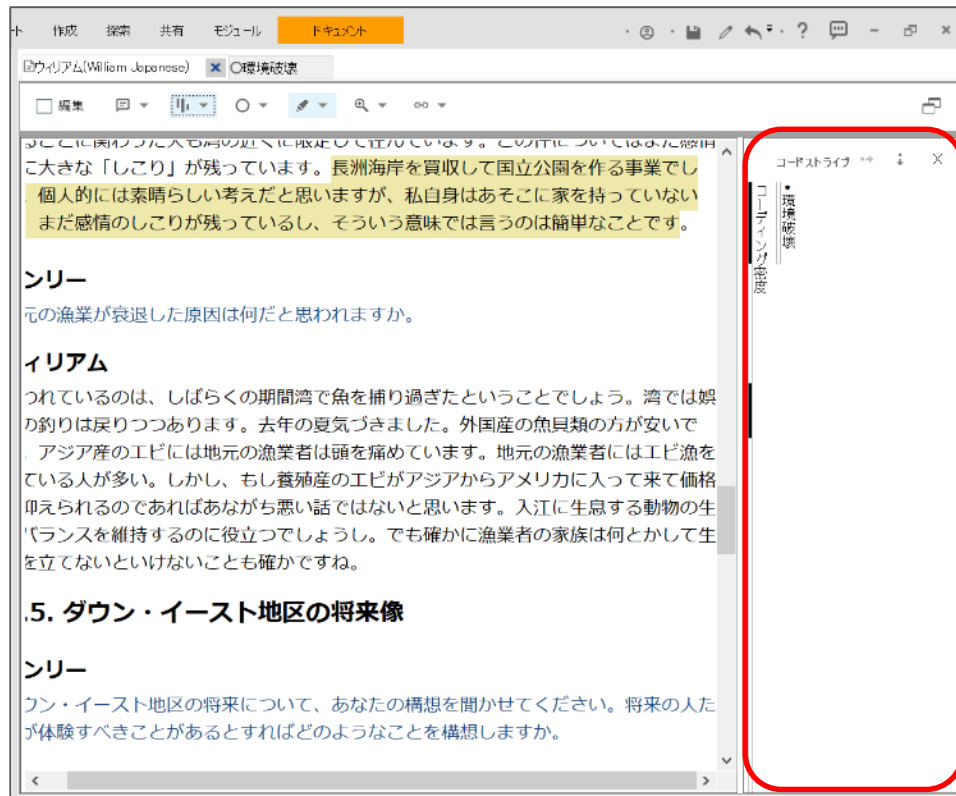
コードやソースデータを開くとメニューの右側に新しいメニュー（[ドキュメント] や [コード]）が表示されるので、それをクリック後 [コーディングストライプ] → [選択したアイテム] をクリックします。



表示する要素を選択する画面が出現します。コード・ケース・ケースの分類（属性情報）など、コーディングストライプで表示したい要素を選択し、[OK] をクリックします。

※ データを階層化している場合、要素を選択する画面にて下の階層が隠れた状態で表示されることがあります。上位階層左の [+] をクリックすると下の階層を表示できます。

Step 9-2 データを考察する③：コーディングストライプの設定



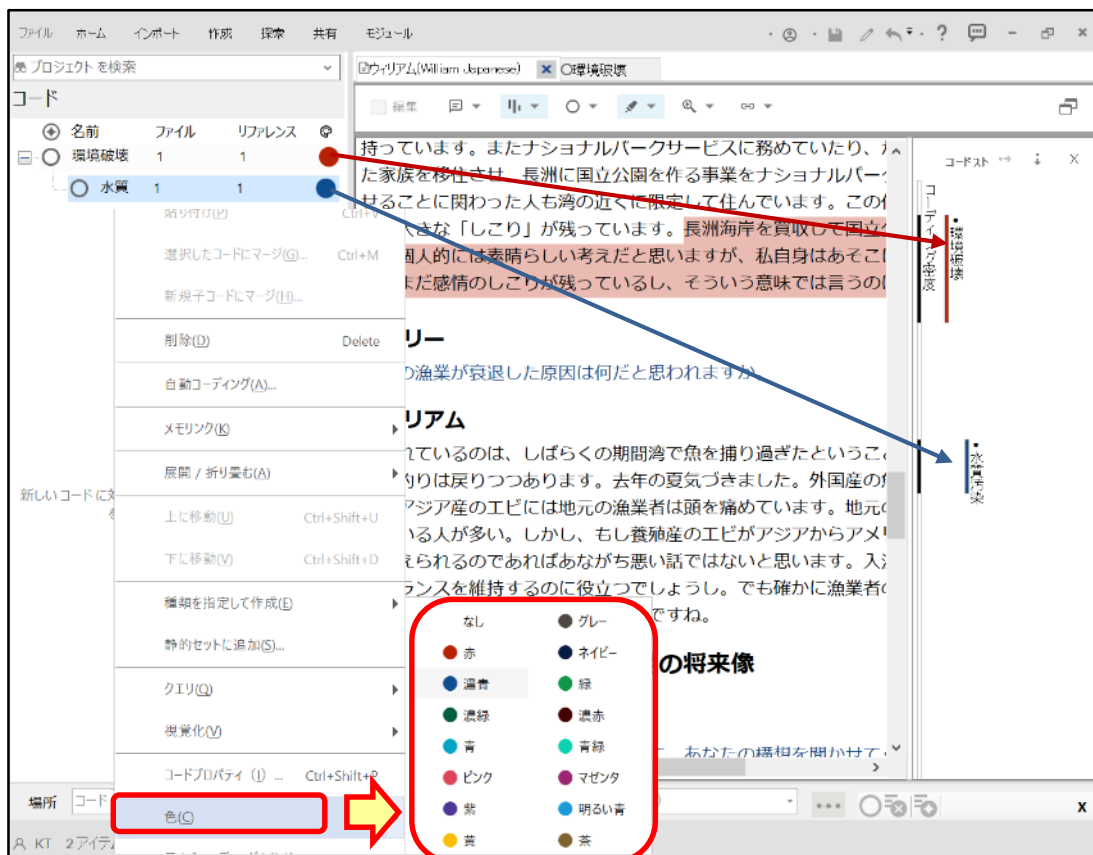
指定した要素のみのコーディングストライプが表示されました。

別の要素を選択し直すときは、もう一度 [コーディングストライプ] → [選択したアイテム] をクリックします。

Step 9-3 データを考察する③：コーディングストライプの設定



ハイライトの色を、コードに設定した色で表示することができるようになりました！



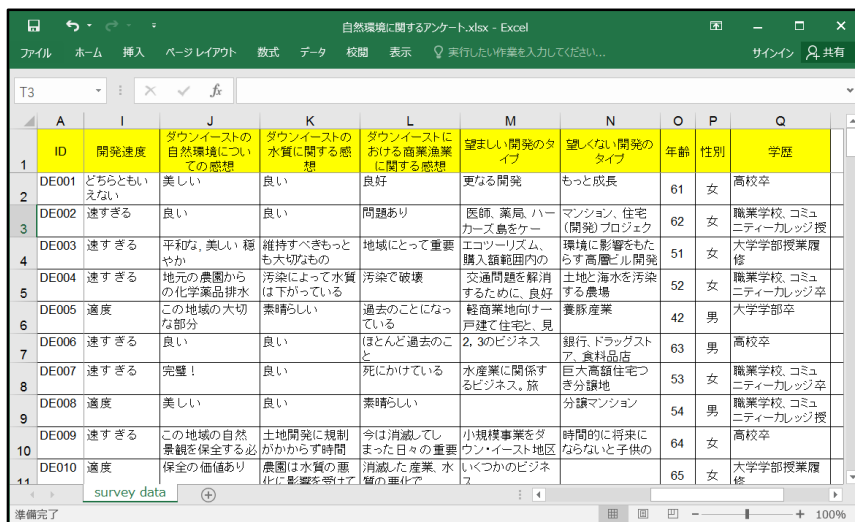
リストビューにコード一覧を表示させ、コードを右クリックして [色] の項目から色を選択できます。

選択した色はコードに設定され、コーディングストライプ上の表示も選択した色に変更されます。

コーディングストライプ上でコーディングされていることを示すバーをクリックすると、そのコードにコーディングされているすべての箇所がその色でハイライトされます。

※ 色は15種類です。同じ色を複数のコードに設定した場合は、コーディングストライプでも同じ色が使用されます。

Step 10-1 データのインポート② : Excel シート編



ID	開発速度	ダウンイーストの自然環境についての感想	ダウンイーストの水質に関する感想	ダウンイーストにおける商業漁業に関する感想	望ましい開発のタイプ	望しくない開発のタイプ	年齢	性別	学歴
DE001	どちらともいえない	美しい	良い	良好	更なる開発	もっと成長	61	女	高校卒
DE002	速すぎる	良い	良い	問題あり	医師、薫風、ハーカース島をテーマ	マンション、住宅（開発）プロジェクト	62	女	職業学校、コミュニティカレッジ校
DE003	速すぎる	平和な、美しい、穏やか	維持すべきものも大切なもの	地域にとって重要	エコツーリズム、購入額範囲内の	権利に影響をもたらさず高層ビル開発	51	女	大学学部授業履修
DE004	速すぎる	地元の農園からの化学薬品排水	汚染によって水質は下がっている	汚染で破壊	交通問題を解消するために、良好	土地と海水を汚染する農場	52	女	職業学校、コミュニティカレッジ卒
DE005	適度	この地域の大切な部分	素晴らしい	過去のことになっている	軽商業地志向（戸建て住宅と、見	養豚産業	42	男	大学学部卒
DE006	速すぎる	良い	良い	ほとんど過去のことで	2、3のビジネス	銀行、ドラッグストア、食料品店	63	男	高校卒
DE007	速すぎる	完璧！	良い	死にかけている	水産業に関係するビジネス、旅	巨大高層住宅つき分譲地	53	女	職業学校、コミュニティカレッジ卒
DE008	適度	美しい	良い	素晴らしい	素晴らしい	分譲マンション	54	男	職業学校、コミュニティカレッジ校
DE009	速すぎる	この地域の自然景観を保全する必要がある	土地開発に規制がかからず時間	今は消滅してしまった日々の重要な	小規模事業をダウンイースト地区	時間的に将来に耐えないと子供の	64	女	高校卒
DE010	適度	保全の価値あり	農園は水質の悪化に影響を受けて	消滅した産業、水質の悪化	いくつかのビジネス		65	女	大学学部授業履修

アンケート結果を Microsoft Excel などのスプレッドシートにまとめておけば、NVivo に取り込み、内容を分析することが可能です。

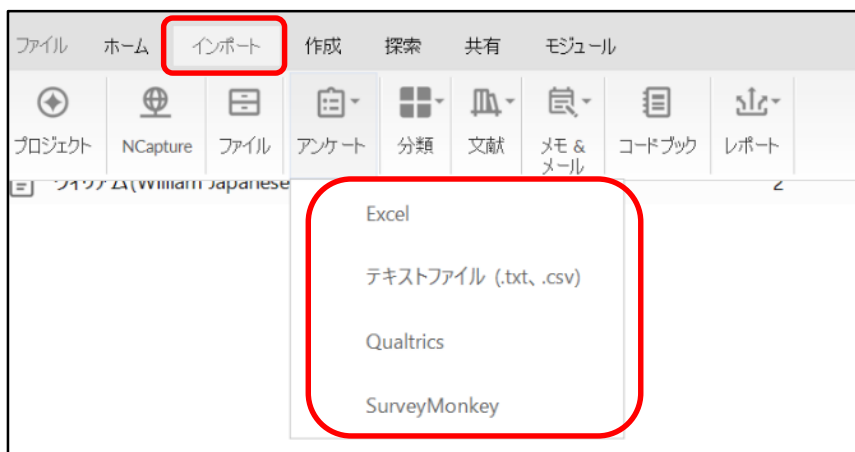
まずアンケートのデータを用意します。

※ 取り込み可能なファイル形式：

.xls、.xlsx、.txt（タブ区切りのもの）、.csv

※ 取り込み可能な外部サービス：

Qualtrics、SurveyMonkey



設問をあらかじめ 1行目に入れておくことで後で自動認識させることができるので便利です。

準備ができたら**必ずファイル**を閉じ、[インポート]メニューの [アンケート] → [Excel] または [テキストファイル] をクリックします。外部サービスの場合は該当の製品名をクリックします。今回は [Excel] を選択します。

Step 10-2 データのインポート② : Excel シート編



データ選択画面が出現するので、取り込みたいファイルを選び [開く] をクリックします。

アンケートのインポートウィザードが表示されるので、[次へ] をクリックします。



Step 10-3 データのインポート② : Excel シート編

アンケートのインポートウィザード - ステップ 2

データの形式を確認してください

質問ヘッダで使用される行数はいくつですか? 1

日付の順番は何ですか? 年、月、日

行 ID	ID (2)	返信日	郡区名	地域名	タウンリストにおける世代	商業漁業
1	DE001	2004/12/14 0:00	ストレイツ	ストレイツ	なし	0
2	DE002	2004/12/17 0:00	ハーカースアイラン	ハーカースアイラン	3世代以上	0
3	DE003	2004/12/11 0:00	マーシャルバーグ	マーシャルバーグ	3世代以上	0
4	DE004	2004/12/16 0:00	スメリナ	ウイリントン	3世代以上	0
5	DE005	2004/12/04 0:00	ストレイツ	グロスター	1世代	0
6	DE006	2004/12/07 0:00	ストレイツ	ベティ	3世代以上	0
7	DE007	2004/12/09 0:00	マーシャルバーグ	マーシャルバーグ	3世代以上	1
8	DE008	2004/12/07 0:00	ストレイツ	オトウェイ	1世代	1
9	DE009	2004/12/15 0:00	マーシャルバーグ	マーシャルバーグ	3世代以上	0
10	DE010	2004/12/11 0:00	ステーシー	ステーシー	3世代以上	0
11	DE011	2004/12/03 0:00	ステーシー	ステーシー	3世代以上	0
12	DE012	2004/12/15 0:00	スメリナ	ウイリントン	2世代	0
13	DE013	2004/12/09 0:00	ストレイツ	ストレイツ	3世代以上	0
14	DE014	2004/12/18 0:00	ストレイツ	ベティ	1世代	1
15	DE015	2004/12/08 0:00	シー・レベル	シー・レベル	3世代以上	0
16	DE016	2004/12/07 0:00	シー・レベル	シー・レベル	3世代以上	0
17	DE017	2004/12/07 0:00	シダー島	シダー島	3世代以上	1
18	DE018	2006/12/08 0:00	ストレイツ	グロスター	3世代以上	1
19	DE019	2004/12/07 0:00	シー・レベル	シー・レベル	3世代以上	1
20	DE020	2004/12/11 0:00	ストレイツ	ストレイツ	なし	0
21	DE021	2004/12/09 0:00	シダー島	シダー島	3世代以上	0
22	DE022	2004/12/14 0:00	アトランティック	アトランティック	3世代以上	1
23	DE023	2004/12/14 0:00	アトランティック	アトランティック	3世代以上	1
24	DE024	2004/12/10 0:00	アトランティック	アトランティック	3世代以上	0
25	DE025	2004/12/07 0:00	ディビス	ディビス	3世代以上	0

[次へ] をクリックして続行

キャンセル 戻る (B) 次へ (N)

次の画面が表示されたら、Excel シートの内容が正しく取り込まれているか確認します。

また、次の設定を確認します。

- [質問ヘッダで使用される行数はいくつですか?]: 事前にシート内に設問を入力していた場合、それに使用した行数を入力します。(1、2) 設問を入力せず1行目から回答が始まっている場合は"0"を選択します。
- [日付の順番は何ですか?]: 回答の中に日付が入っている場合、記載されている順番を指定します。(年月日、日月年など)

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

Step 10-4 データのインポート② : Excel シート編

アンケートのインポート ウィザード - ステップ 3

アンケート回答者の管理

NVivo は、各回答者のケースを作成し、回答を収集します。

プロジェクトのどこにケースを保存しますか?

ケース**アンケート調査 場所の変更 (L)

各ケースに一意 ID を選択します

行 ID

ケースはともに、分類でグループ化されます。

新規分類を作成 (C)

アンケート回答者

[次へ]をクリックして続行

キャンセル 戻る (B) 次へ (N)

- [プロジェクトのどこにデータを保存しますか?]: 固有名詞や個人に割り振られた ID のように変動しない情報を NVivo では「**ケース**」と呼びます。アンケート回答者のケースを作成し、自由記述の回答を自動コーディングすることができます。[場所の変更] から作成場所を変更可能ですが、特別な理由がない場合デフォルトの保存先で問題ありません。
- [各ケースに一意IDを選択します]: アンケート回答者の名前・IDが入っている列を選択します。
- [新規分類を作成]: 自由記述ではない部分（選択式回答や年齢、性別など）を「分類」として作成することができます。任意に変更していただいて構いません。

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

Step 10-5 データのインポート② : Excel シート編

アンケートのインポートウィザード - ステップ 4

自由回答形式および選択回答形式の質問を特定します。

選択回答形式の質問は 属性 の作成に使用され、自由回答形式の質問は 属性 の作成に使用されます。
 インポートしたい選択回答形式の質問および自由回答形式の質問を選択します。

回答者 1 / 104

質問 (編集可能)	プレビュー	選択回答形式	自由回答形式	インポートしない
行 ID	1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ID (2)	DE001	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
返信日	2004/12/14 0:00:00	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
郡区名	ストレイツ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域名	ストレイツ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ダウニーストにおける世代	なし	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
商業漁業	0	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
趣味としての釣り	0	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資源とつながりのある収入の有無	以前からなし	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
開発速度	どちらともいえない	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウニーストの自然環境についての感想	美しい	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウニーストの水質に関する感想	良い	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウニーストにおける商業漁業に関する感想	良好	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
望ましい開発のタイプ	更なる開発	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
望しくない開発のタイプ	もっと成長	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
年齢	61	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性別	女	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学歴	高校卒	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[次へ]をクリックして続行

キャンセル 戻る (B) **次へ (N)**

取り込んだ Excel シートの内容を、[選択回答形式]、[自由回答形式]、[インポートしない] に振り分けま
 す。設問ごとに指定する必要があります。

※ [インポートしない] を選ぶと、その行はNVivoに取り
 込まれません。

※ 上記いずれの選択も、インポート完了後に設定を変更
 することはできません。ご注意ください。

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

Step 10-6 データのインポート② : Excel シート編



NVivo は一つ前の画面で [Open Ended (自由回答形式)] に設定した欄の回答に記載されている内容から「テーマ」と「感情」を分析し、自動コードを作成することが可能です。

- [テーマを自動コーディング]
- [感情を自動コーディング]

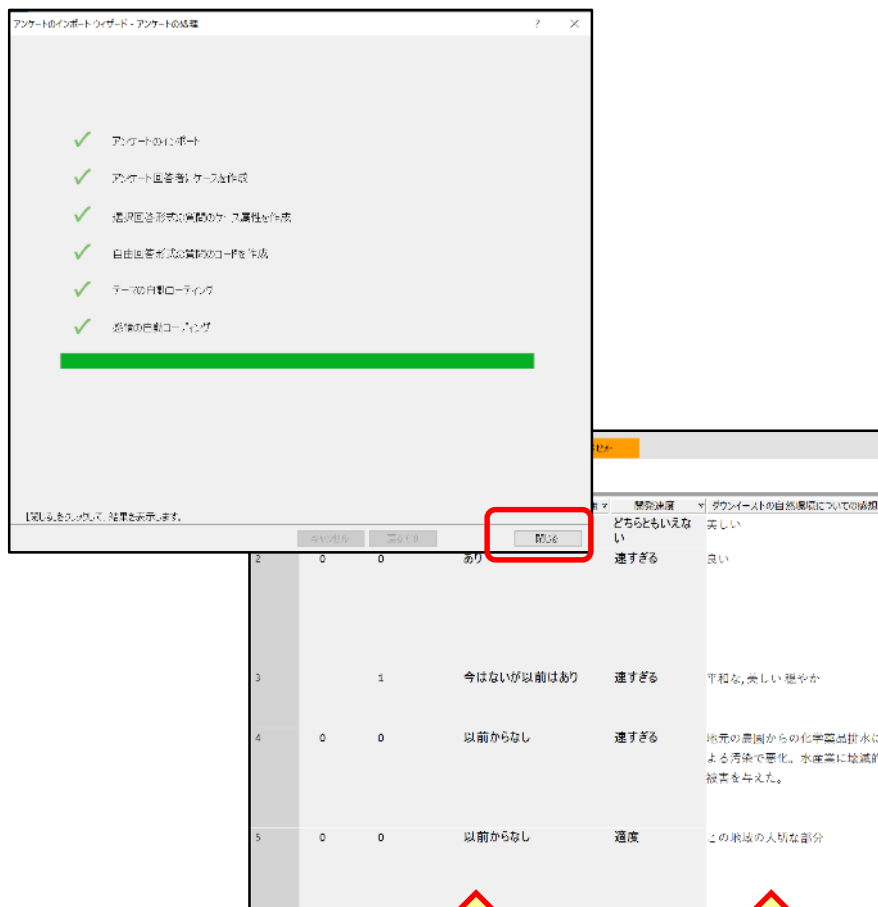
実行したい自動コードにチェックを入れます。

自動コードを作成する際は、[テキストコンテンツの言語] に設定されている言語がアンケートデータ内で使用されている言語と合致している必要があります。

[テキストコンテンツの言語] はこちらの画面からは変更できません。一度 [キャンセル] で画面を閉じ、[ファイル] メニュー → [プロジェクトプロパティ] を選択し、出現した画面の [一般] タブ内の [テキストコンテンツの言語] を変更してください。

設定が完了したら [終了] をクリックします。

Step 10-7 データのインポート② : Excel シート編



灰色背景は
選択回答形式の列

白色背景は
自由回答形式の列

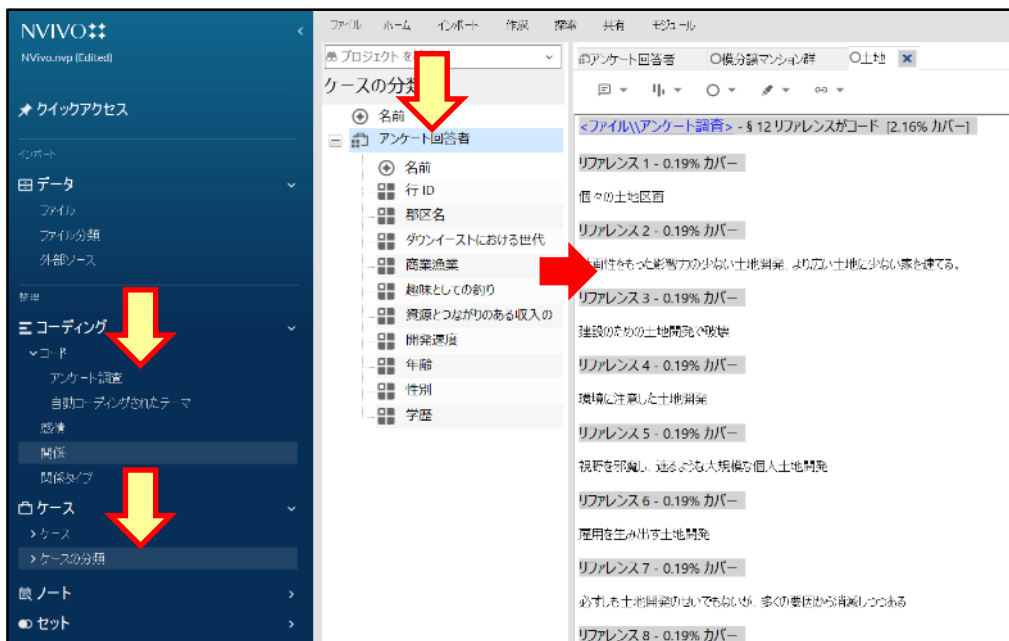
NVivo がアンケートを読み込み、処理が完了したら [閉じる] をクリックすると [ファイル] 内にアンケートデータが取り込まれ、自動的に開かれます。

[選択回答形式] を選んだ列は背景が灰色で表示され、文字選択することができません。

[自由回答形式] を選んだ列は背景が白く表示され、他のソースデータと同じようにコーディングを行うことが可能です。

※ ただし、内容の編集を行うことはできません。内容を変更する場合は大元の Excel ファイルで修正したあと、再度 NVivo に取り込み直す必要があります。（その場合コーディングなど、それまで行った操作は引き継がれません。ご注意ください）

Step 10-8 データのインポート② : Excel シート編



アンケート取り込みの途中で設定したケースと分類は、[ケース] と [ケースの分類] に保存されています。

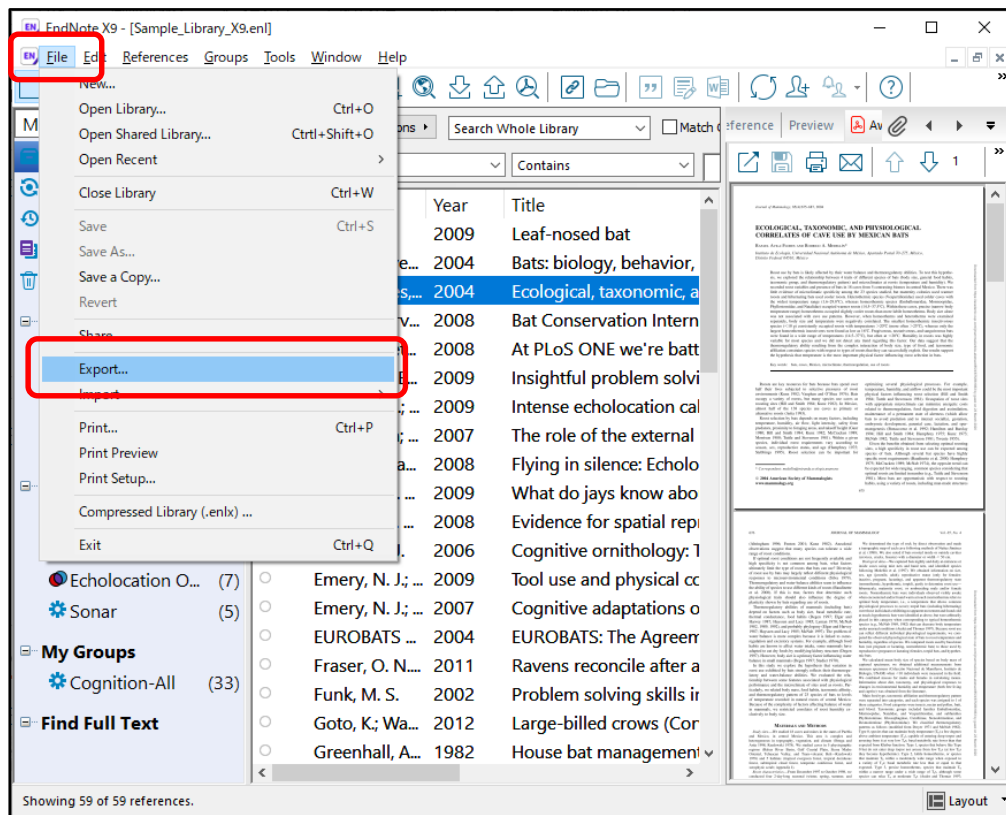
[ケースの分類] のサブフォルダに保存されたデータから、各回答者が選択回答形式の設問に回答した内容、自由回答形式の設問に回答した内容をまとめて確認できます。

[自由回答形式] に設定した内容や「テーマ」「感情」で自動コードを作成した場合、それぞれがナビゲーションビューの [コード] のサブフォルダ内に保存されています。

※ ナビゲーションビューにサブフォルダが表示されていない場合は、親フォルダ横に表示されている「>」記号をクリックしてください。

このようにアンケート回答者や回答者の属性も取り込んでおくことで、後に分析を行う際に活用できるようになります。

Step 11-1 データのインポート③ : EndNote 編



※こちらは EndNote X9 の画面です。

文献管理・論文作成支援ソフトウェア

『EndNote』を使用している場合、保存している文献情報と関連付けられているフルテキストPDFなどを NVivo に取り込むことができます。

取り込んだ PDF などは他のソースデータと同様に扱えるため、文献レビューに活用できます。

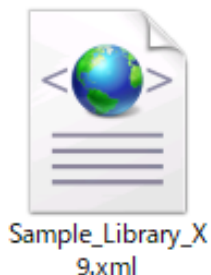
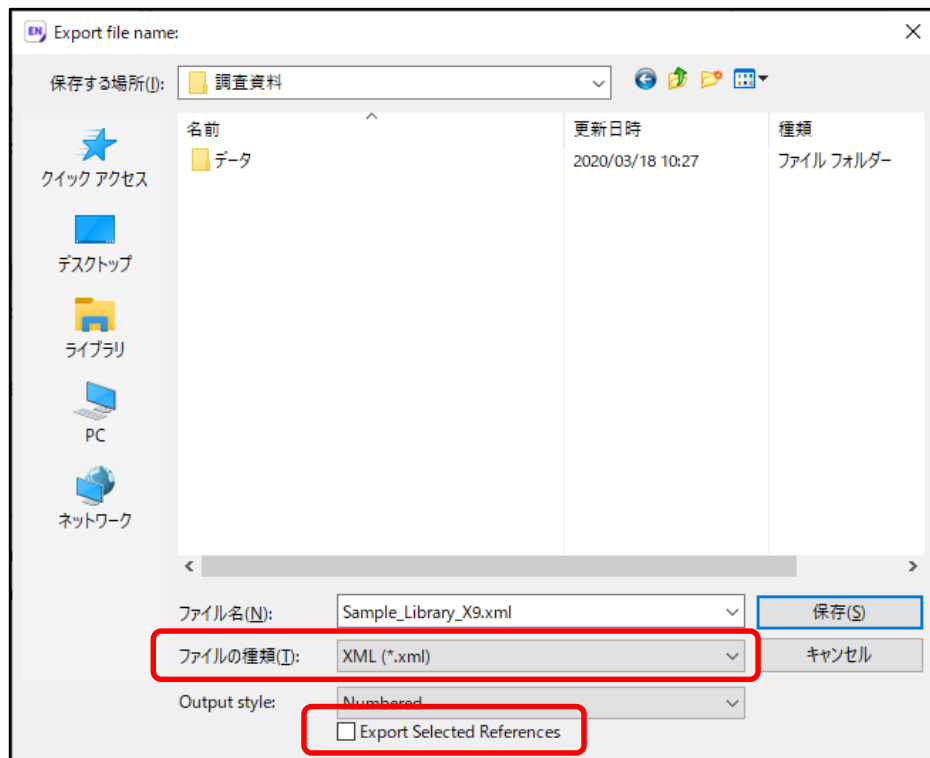
■ EndNoteで行う操作

NVivo に取り込みたい文献情報が保存されている EndNote ライブラリを起動し、出力したい文献を選択して [File] → [Export] をクリックします。

※ ライブラリ内すべての文献を出力したい場合は文献を選択する必要はありません。

*本章では EndNote X9 を使用しています。EndNote X9 は別途ご購入が必要です。

Step 11-2 データのインポート③ : EndNote 編



※ XMLファイルのアイコンは、既定のプログラムとして登録されているアプリケーションのアイコンになります。無地の場合もあります。そのため、アイコンの種類は特に気になさなくて結構です。

■ EndNote で行う操作 (続き)

出力ファイルを保存する画面が出現するので、わかりやすい保存場所・名前を設定し、
[ファイルの種類] を [XML (*.xml)] に変更します。

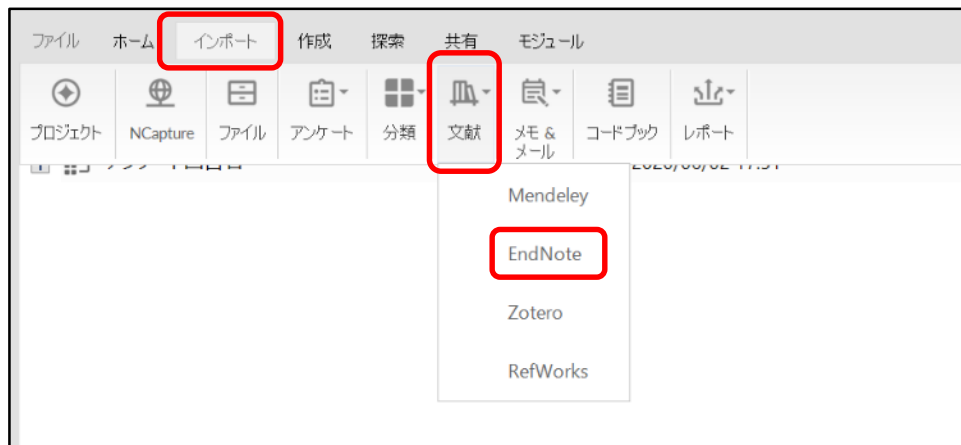
[Output style] は NVivo への出力に影響しないため、特に変更する必要はありません。

[Export Selected References] で出力対象の文献を変更できます。目的に応じて選択してください。

- チェックあり…事前を選択していたレコードのみ
- チェックなし…ライブラリ内全てのレコード

設定が完了したら [保存] をクリックすると、指定した場所にXMLファイルが作成されます。

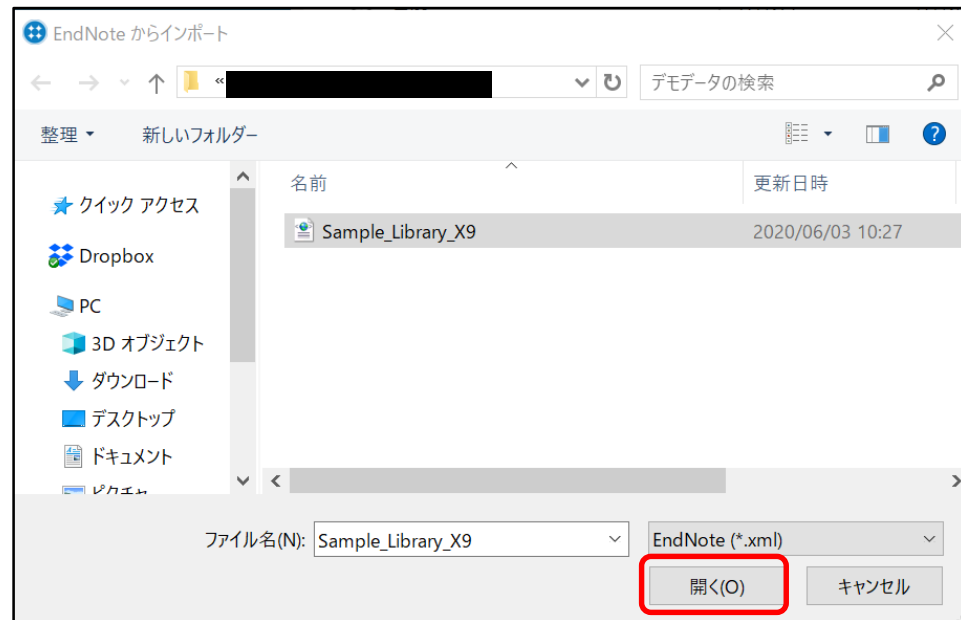
Step 11-3 データのインポート③ : EndNote 編



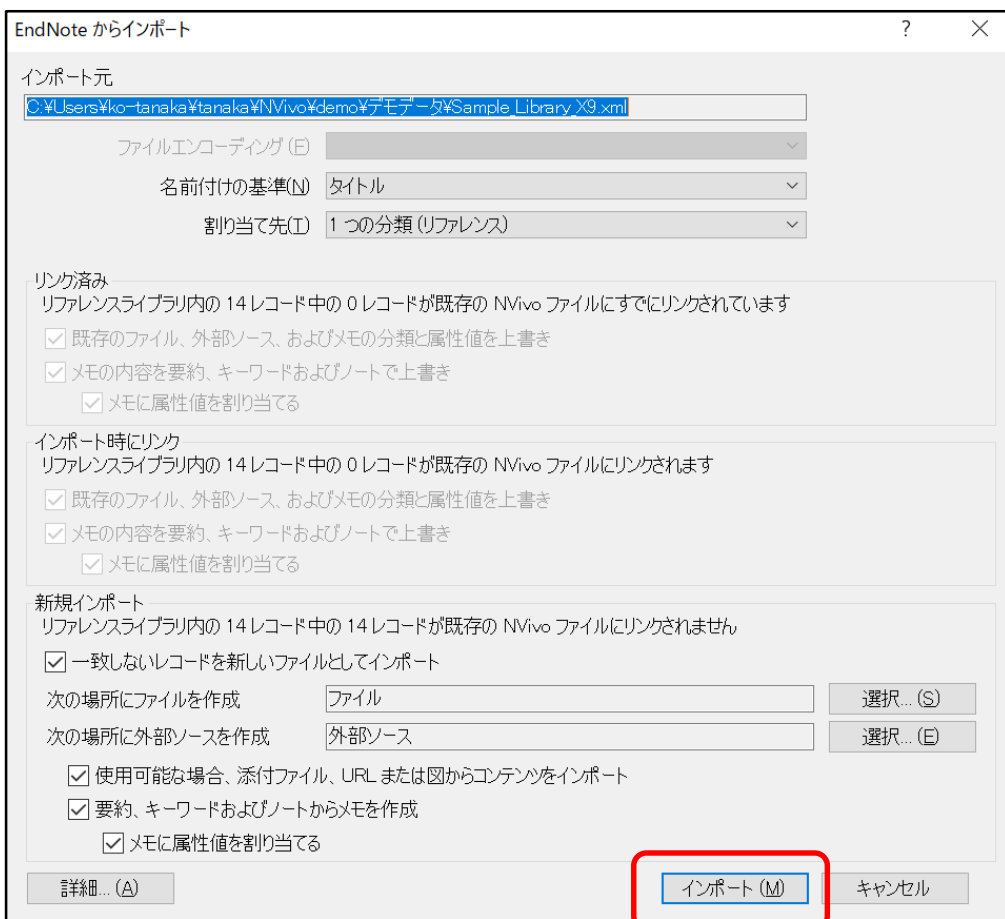
次に、NVivo でデータを取り込みます。

NVivo プロジェクトを起動し、
[インポート] メニューの
[文献] → [EndNote] を選択

先ほど出力した XML ファイルを選択し、
[開く] をクリックします。



Step 11-4 データのインポート③ : EndNote 編



EndNote からインポート

インポート元

ファイルエンコーディング (E)

名前付けの基準(N)

割り当て先(I)

リンク済み
 リファレンスライブラリ内の 14レコード中の 0レコードが既存の NVivo ファイルにすでにリンクされています

既存のファイル、外部ソース、およびメモの分類と属性値を上書き
 メモの内容を要約、キーワードおよびノートで上書き
 メモに属性値を割り当てる

インポート時にリンク
 リファレンスライブラリ内の 14レコード中の 0レコードが既存の NVivo ファイルにリンクされます

既存のファイル、外部ソース、およびメモの分類と属性値を上書き
 メモの内容を要約、キーワードおよびノートで上書き
 メモに属性値を割り当てる

新規インポート
 リファレンスライブラリ内の 14レコード中の 14レコードが既存の NVivo ファイルにリンクされません

一致しないレコードを新しいファイルとしてインポート

次の場所にファイルを作成

次の場所に外部ソースを作成

使用可能な場合、添付ファイル、URL または図からコンテンツをインポート
 要約、キーワードおよびノートからメモを作成
 メモに属性値を割り当てる

取り込んだデータを NVivo でどのように扱うか詳細に設定できる画面が開きます。(設定は任意)

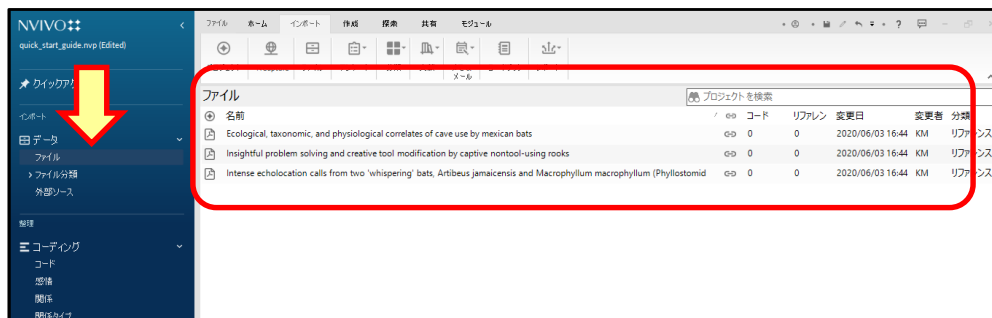
特に変更の必要がなければデフォルト設定のままでも問題ありません。

- [次の場所にファイルを作成] : EndNote 内で文献情報に文書ファイルまたは PDF ファイルが添付されていた場合、そのデータを取り込む場所を [選択] ボタンから指定できます。
- [次の場所に外部ソースを作成] : EndNote 内で文献情報のみだったデータを取り込む場所を [選択] から指定できます。

準備ができたなら [インポート] をクリックします。

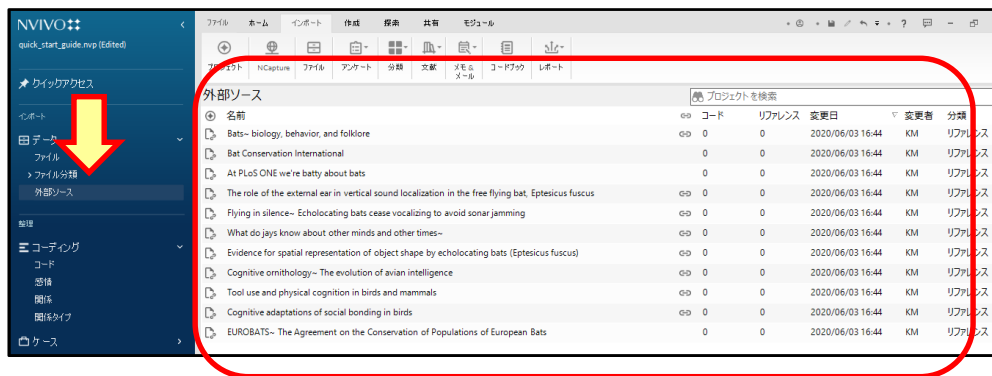
※ 以降の内容はこの設定を変更しなかったとして記載しています。

Step 11-5 データのインポート③ : EndNote 編



NVivo に EndNote で保存していた文献データが取り込まれました。

EndNote で PDF または Word ファイルが添付されていたデータは [ファイル] 直下に取り込まれ、添付されていないデータは文献情報の一部が [外部ソース] に取り込まれます。



また、各ソースには補足説明などを入力できる「メモ」が自動的に付与されます。

「メモ」は各ソースデータを選択し、[ホーム] メニューの [アイテム] → [リンクされたメモを開く] を選択すると開くことができます。そこには EndNote に登録されていた [Abstract]、[Keywords]、[Notes] フィールドの内容が自動的に記載されています。

「メモ」に記載されている内容に対してもコーディングなどを行うことができます。

※ EndNote 上のレコードが上記の情報を一つも含んでいなかった場合、メモは自動的に付与されません。

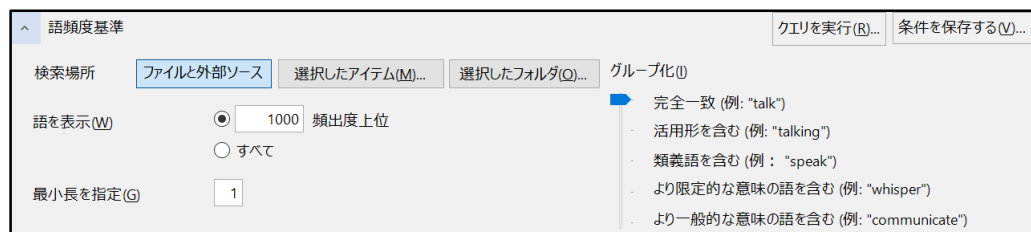
Step 12-1 データを分析する：頻出語クエリ編



NVivo にはソースデータやノード内のデータなどを分析する機能が搭載されています。これらの分析機能を「クエリ」といいます。

こちらでは頻出語クエリを使用し、複数のデータで共通して取り上げられている単語（トピック）を探してみましょう。

[探索] メニューの [頻出語] をクリックすると頻出語クエリの設定画面が開きます。



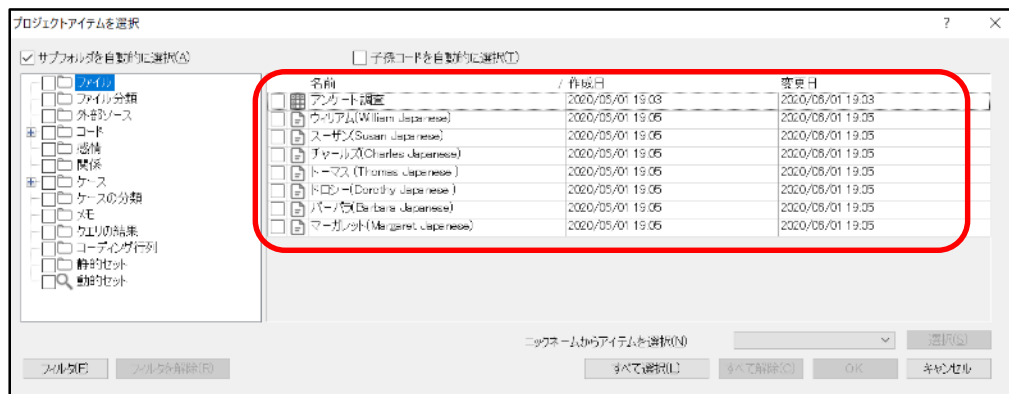
[検索場所]：分析の対象とするデータを選びます。

[語を表示]：分析結果として表示する単語の数を指定します。

[最小長を指定]：単語として認識されることばの最小文字数を指定します。

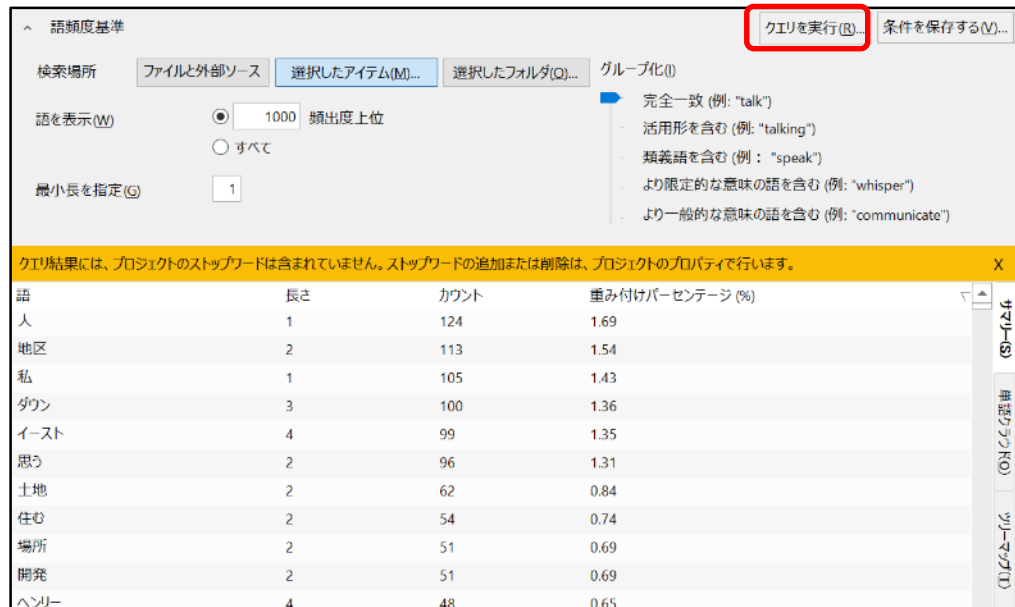
[グループ化]：単語の活用形など表現のゆらぎをどこまで同一単語とみなすか指定します。

Step 12-2 データを分析する：頻出語クエリ編



[検索場所] の [選択したアイテム] をクリックすると、どのソースデータを分析対象とするか指定することができます。

分析対象にしたいソースデータにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



[クエリを実行] をクリックすると、分析結果が画面下部に表示されます。

※ もし結果に英数字しか表示されない場合は、

[プロジェクトプロパティ] の [テキスト内容の言語] の設定をご確認ください。

[ファイル] メニュー → [プロジェクトプロパティ] を選択し、出現した画面の [一般] タブ内の [テキスト内容の言語] を分析対象データ内で使用している言語に変更してください。

Step 12-3 データを分析する：頻出語クエリ編



語頻度基準

クエリを実行 (R)... 条件を保存する (V)...

検索場所 ファイルと外部ソース 選択したアイテム (M)... 選択したフォルダ (O)... グループ化 (G)

語を表示 (W) 1000 頻出度上位 すべて

最小長を指定 (S) 1

グループ化 (G)

- 完全一致 (例: "talk")
- 活用形を含む (例: "talking")
- 類義語を含む (例: "speak")
- より限定的な意味の語を含む (例: "whisper")
- より一般的な意味の語を含む (例: "communicate")

クエリ結果には、プロジェクトのストップワードは含まれていません。ストップワードの追加または削除は、プロジェクトのプロパティで行います。

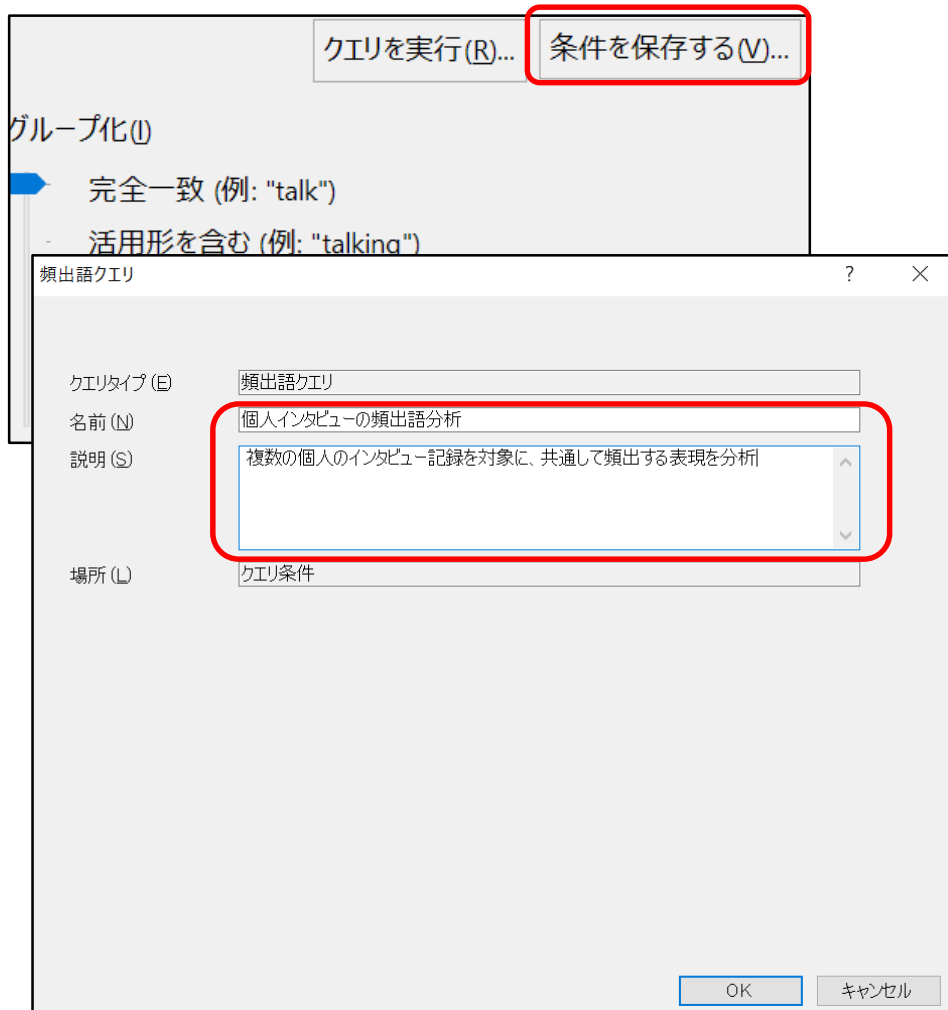
単語クラウド (W)

クエリ結果画面の右側にある [単語クラウド] タブをクリックすると、頻出語を視覚的に表示させることが可能です。

色付きで文字が大きく、中心に近いほど登場回数が多いことを意味します。

この図は、右クリックで [コピー] するとそのまま画像として他のアプリ (Word、PowerPoint 等) に貼り付け可能です。

Step 12-5 データを分析する：頻出語クエリ編



The screenshot shows the NVIVO interface with a dialog box titled '頻出語クエリ' (Frequent Word Query) open. The dialog box has the following fields:

- クエリタイプ (E): 頻出語クエリ
- 名前 (N): 個人インタビューの頻出語分析
- 説明 (S): 複数の個人のインタビュー記録を対象に、共通して頻出する表現を分析
- 場所 (L): クエリ条件

Buttons at the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). In the background, the '条件を保存する(V)...' button is highlighted with a red box.

同じ内容のクエリを複数回行う場合は、クエリの設定内容を保存しておくくと便利です。

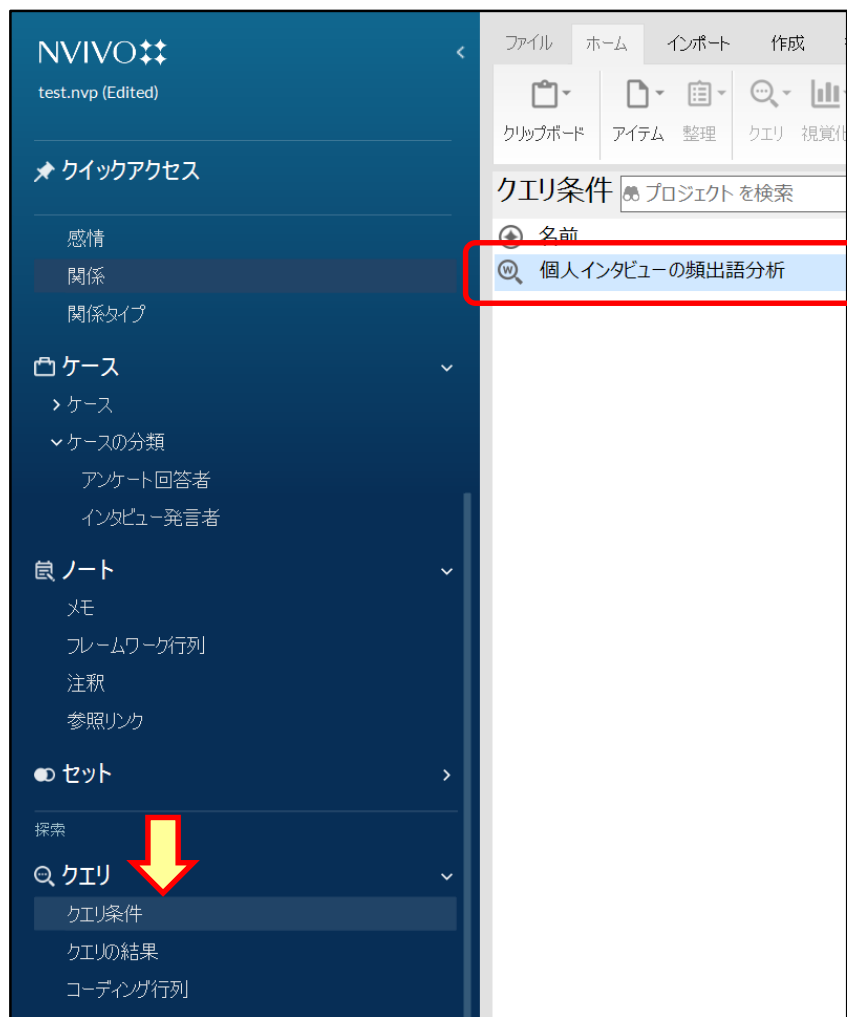
クエリの設定画面右上にある [Save Criteria] をクリックすると、保存画面が出現します。

[名前]：保存するクエリに名前を設定します。

[説明]：保存するクエリの説明（任意）を入力します。

入力が完了したら [OK] をクリックします。

Step 12-6 データを分析する：頻出語クエリ編



ナビゲーションビューの [クエリ] を開き、[クエリ条件] をクリックすると、保存したクエリが表示されます。

表示されているデータを右クリックして [クエリを開く] を選択すると、保存した状態のクエリ設定画面を表示できます。[クエリを実行] をクリックするとクエリを再実行できます。実行前に設定に変更を加えることも可能です。

※ 設定を変更したあと [クエリを実行] を行うと、開いたクエリデータに上書き保存されてしまいますのでご注意ください。

従来の設定も保存しておきたい場合は、[クエリを開く] を行う前に同クエリデータのコピーを取っておく必要があります。データの上で右クリック → [コピー]、空きスペースで右クリック → [貼り付け] で複製可能です。

便利な資料集

- ◆ **NVivo チュートリアル**：最も基本となる操作を動画で解説

<https://help-nv.qsrinternational.com/20/win/Content/tutorials/tutorial-01-intro-import.htm>

- ◆ **NVivo ノート**：NVivoの使い方で困った時に参考にしたい日本語ブログ

<http://nvivonote.info/>

- ◆ **NVivo 無料オンラインセミナー**：弊社スタッフによる講義

https://www2.usaco.co.jp/shop/pages/nvivo_web_seminar.aspx

お問い合わせ

ユサコ株式会社

ユサコ株式会社 NVivo サポート担当

メールでのお問い合わせ

[フォーム](#) より必要事項をご入力の上、お問い合わせをお願いいたします。

対応時間：9:00 ～ 17:30（土日祝 年末年始を除く）

※ **弊社よりNVivoをご購入いただいた方を対象に**下記のサポートを提供いたします。

- ・ NVivo のインストール方法に関するご案内
- ・ NVivo のライセンスやアクティベーションに関するご案内
- ・ NVivo を使用中にエラーが発生した場合、
または NVivo の機能が正常に動作しない場合、問題解決に向けたご対応

※ 具体的な機能・操作方法に関するお問い合わせにはお答えいたしかねる場合があります。